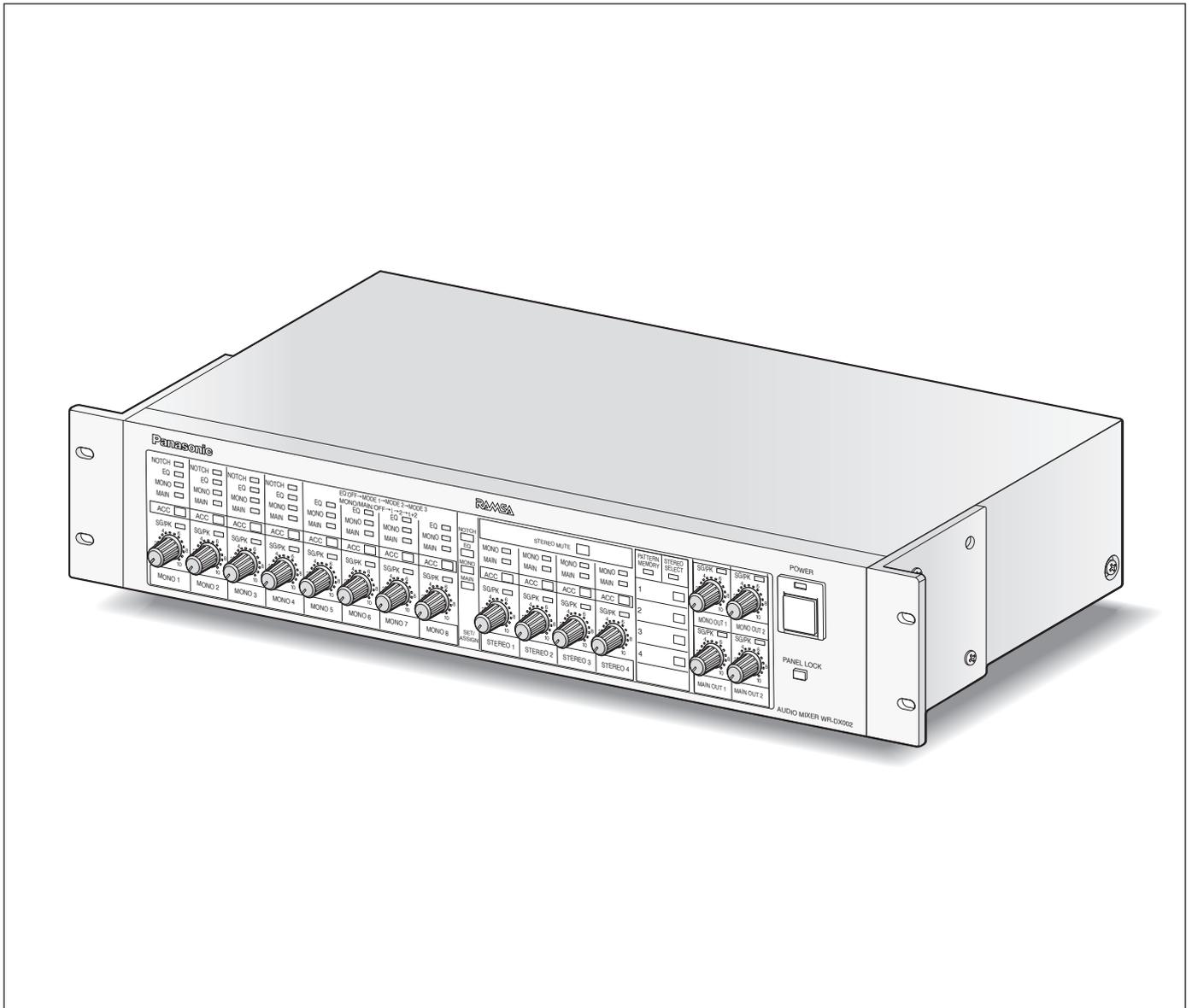


## 取扱説明書

工事説明付き

### オーディオミキサー

品番 **WR-DX002**



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# はじめに

## 商品概要

本機はモノラル入力8系統、ステレオ入力4系統、出力4系統を備えた、2Uサイズでコンパクトなデジタルミキサーです。ハウリングサプレッサー、イコライザーといった機能や、接点入出力、VCA入力といった外部制御機能も搭載しており、会議室や体育館での使用に最適です。

## 主な特長

### ハウリングサプレッサーなどのデジタルならではの機能を搭載

不快なハウリングを自動で抑制するノッチフィルター方式のハウリングサプレッサーをモノラル入力チャンネルに4系統搭載。また、モノラル入力に3パターンのプリセットイコライザーを搭載。難しい調整を行うことなく、簡単に適切な音質に設定することができます。

### 操作が簡単なパネルレイアウト

出力音量調整やパターンメモリー選択用のボタンなど、運用中によく操作される機能を1箇所に集めて、わかりやすいパネルレイアウトにしています。また、誤操作防止のために、出力先設定やハウリングサプレッサー、イコライザーの設定などの機能は、パネルロック機能で操作を無効にすることができます。

### パターンメモリーと外部制御機能を搭載

出力先や機能の有効／無効の設定を4パターンまで登録可能です。あらかじめ記録したパターンを呼び出すことで、部屋の用途ごとの設定が簡単におこなえます。また、接点入出力により外部機器からパターンを呼び出したり、逆に外部機器にメイク信号を出力したりすることも可能です。VCA入力も4系統搭載しており、外部から入出力音量の調整も行うことができます。さらに別売りの電源制御ユニットを用意することで、本機の電源スイッチ操作により他機器の電源を制御することもできます。

### ステレオ入力チャンネル選択機能

ステレオ入力チャンネル選択機能により、ステレオ入力4チャンネルのうち、いずれか1チャンネルのみを有効にすることができ、スイッチャーのような使いかたができます。また、このとき外部接点出力の状態と連動することにより、映像機器と連携して、ミキサー側のステレオ入力チャンネル選択に合わせて映像信号の切り替えを連動させる、といった使いかたもできます。

### 便利な機能

すべてのステレオ入力チャンネルの音量を下げる可以降低ことができるステレオ入力ミュート機能を搭載。ボタン操作で音量を下げることも、モノラル入力チャンネル1、2に信号入力がある場合に自動的に音量を下げることもできます。マイク放送時にBGMの音量を下げたい場合に便利です。また、通常ステレオで出力されるメイン出力をモノラルにすることもでき、幅広いシステムを構築することができます。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..... 1冊  
保証書..... 1式

以下の付属品は取付工事に使用します。

ゴム足..... 4個	ラック取付ねじ（M5×12 mm）..... 4個
電源コード（約2 m）..... 1本	音量設定表示ラベル..... 1枚
電源コードクランプ..... 1本	

## 免責について

弊社はいかなる場合でも以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の故意や誤使用、不注意による損害または本商品の破損など
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により消失してしまうこと

# もくじ

## はじめに

商品概要 .....	2
主な特長 .....	2
付属品をご確認ください .....	3
免責について .....	3
安全上のご注意 .....	6
使用上のお願い .....	9
各部の名前とはたらき .....	10
前面パネル .....	10
後面パネル .....	12

## 工事説明

設置のしかた .....	13
設置上のお願い .....	13
ラックへの取り付けかた .....	15
ゴム足の取り付けかた .....	15
電源コードの取り付けかた .....	16
音量設定表示ラベルについて .....	16
接続について .....	17
ケーブルについて .....	17
音声用 .....	17
制御用 .....	18
音響機器の接続方法 .....	19
外部制御入出力端子を使用した外部制御 .....	20
制御入力用機器の接続 .....	21
制御出力用機器の接続 .....	22
VCA用フェーダーおよびボリュームの接続 .....	23
電源制御ユニットの接続 .....	24
システム例 .....	26
会議室、講義室 .....	26
講堂、体育館 .....	27
商業施設、店舗 .....	28
調整／設定のしかた .....	29
後面ディップスイッチの設定 .....	29
出力先の設定 .....	30
メイン出力のモノラル設定 .....	31
入力レベルの調整 .....	31

## 工事説明

イコライザーの設定 .....	32
ハウリングサプレッサーの設定 .....	33
設定の保存と呼び出し .....	34
設定の保存 .....	34
設定の呼び出し .....	34
パネルロックの設定 .....	35
お買い上げ時の設定に戻すには .....	35

## 操作説明

操作のしかた .....	36
電源の入れかた .....	36
パターンメモリーの呼び出し .....	37
音を出す .....	38
ステレオ入力チャンネルの選択 .....	39
ステレオ入力ミュートの使いかた .....	40
マニュアルモード時 .....	40
オートモード時 .....	40
電源の切りかた .....	41

## 必要なとき

故障かな!? .....	42
エラーメッセージ .....	43
外形寸法図 .....	44
系統図 .....	45
お買い上げ時の設定 .....	46
仕様 .....	47
保証とアフターサービス .....	49

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

    してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する

 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

### 不安定な場所に置かない

 禁止 落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

### ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

 落下によるけがや事故の原因となります。

●取付工事は販売店に依頼してください。

### 湿気やほこりの多い場所に設置しない

 禁止 火災や感電の原因となります。

### アースを確実に取り付ける

 本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行って使用してください。アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください。(アース工事費は本製品の価格には含まれていません)

## ⚠ 警告

### 取り付けは、必ず本機の電源を切ってから行う



感電の原因になります。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

### 振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電の原因となります。

### 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店に依頼してください。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

( 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っぱる、重いものを載せる、束ねる など )



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

### 雷のときは工事、配線をしてはいけない



禁止

火災や感電の原因となります。

# 安全上のご注意（つづき）

## 警告

### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

- 放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

### 取り付けねじは、しっかりとしめる



落下などで、けがの原因となります。

- 取付工事は販売店に依頼してください。

### 水をかけたり、ぬらしたりしない



火災や感電の原因となります。

#### 水ぬれ禁止

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

### 持ち運ぶときはコード類をすべて抜く



コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。

### お手入れのときは電源を切る



感電の原因となります。

### 雷が鳴り出したら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない（工事時を含む）



感電の原因となります。

#### 接触禁止

## 注意

### 幼児の手の届く場所に設置しない



#### 禁止

けがの原因となります。

### コネクターの抜き差しは電源を切ってから行う



クリック音でスピーカーが破損する恐れがあります。

# 使用上のお願い

**⚠ 警告 ⚠ 注意** に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

## 使用温度範囲は

0℃～45℃です。この温度範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

## 付属の電源コードは本機専用です。

他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

## 電源スイッチについて

電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。また、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## 電源スイッチを入／切するときは

パワーアンプや周辺機器の電源を切ってから行ってください。クリックノイズが発生し、スピーカーや周辺機器を破損する恐れがあります。

## 長期間使用しない場合は

電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 結露について

結露は、故障の原因になりますので注意してください。以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 湿度が高いとき
- 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき

結露が発生した場合は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

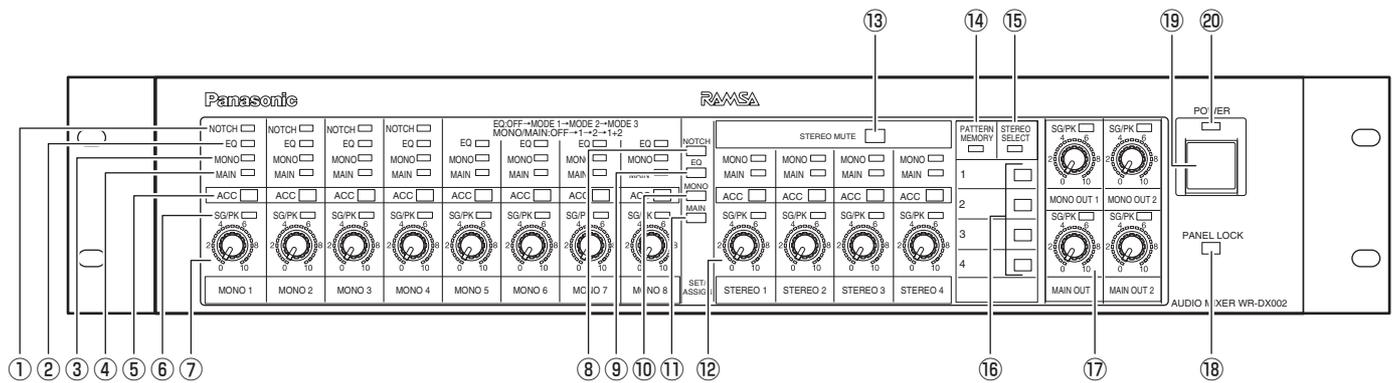
## お手入れは

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

# 各部の名前とはたらき

## 前面パネル

はじめに



### ①ハウリングサプレッサー設定表示灯 [NOTCH]

ハウリングサプレッサー機能が有効のときは橙色に点灯し、無効のときは消灯します。

### ②イコライザー設定表示灯 [EQ]

イコライザーの設定状態を表示します。モード1のときは緑色に、モード2のときは赤色に、モード3のときは橙色に点灯します。また、イコライザー機能が無効のときは消灯します。

### ③モノラル出力設定表示灯 [MONO]

各入力のモノラル出力への設定状態を表示します。モノラル出力チャンネル1のみ設定されているときは緑色に、モノラル出力チャンネル2のみ設定されているときは赤色に、モノラル出力チャンネル1、2両方に設定されているときは橙色に点灯します。モノラル出力への設定が無効のときは消灯します。

### ④メイン出力設定表示灯 [MAIN]

各入力のメイン出力への設定状態を表示します。メイン出力チャンネル1のみ設定されているときは緑色に、メイン出力チャンネル2のみ設定されているときは赤色に、メイン出力チャンネル1、2両方に設定されているときは橙色に点灯します。メイン出力への設定が無効のときは消灯します。

### ⑤チャンネル選択ボタン [ACC]

機能の有効/無効や、出力先設定を行いたいチャンネルを選択します。押すとそのチャンネルが選択状態になり、橙色に点灯します。他のチャンネルが選択されると消灯します。また、60秒以上操作をしないと、チャンネル選択状態を解除して、すべてのチャンネル選択ボタンを消灯します。

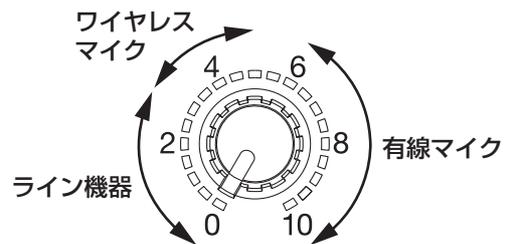
### ⑥シグナル/ピーク表示灯 [SG/PK]

入力信号、または、出力信号のレベルに応じて点灯します。

- 消灯時 : 入力なし、または、入力レベルが過小
- 緑・橙点灯 : 入力レベルが適正
- 赤点灯 : 入力レベルが過大

### ⑦モノラル入力音量調整つまみ [MONO1 ~ 8]

- 入力される信号のレベルに応じて、モノラル入力音量を調整します。



- マイクからラインレベルまで入力レベルを調整できます。

### メモ

- Panasonic製のワイヤレスマイクを使用している場合、ワイヤレス受信機の出力設定は「-20 dB」に設定してください。

### ⑧ハウリングサプレッサー設定ボタン [NOTCH]

モノラル入力チャンネル1から4で、チャンネル選択ボタンで選択したチャンネルに対して、ハウリングサプレッサー機能の有効/無効を切り替える場合に、このボタンを押します。

### ⑨イコライザー選択ボタン [EQ]

モノラル入力チャンネルで、チャンネル選択ボタンで選択したチャンネルに対して、イコライザー機能を設定する場合、このボタンを押します。ボタンを押すたびに、設定状態が、無効→モード1→モード2→モード3の順番に変わります。

### ⑩モノラル出力選択ボタン [MONO]

チャンネル選択ボタンで選択したチャンネルに対して、モノラル出力への出力有効/無効を設定する場合にこのボタンを押します。ボタンを押すたびに、設定状態が、モノラル出力チャンネル1のみ有効→モノラル出力チャンネル2のみ有効→モノラル出力チャンネル1,2の両方有効→すべて無効、の順番に変わります。

### ⑪メイン出力選択ボタン [MAIN]

チャンネル選択ボタンで選択したチャンネルに対して、メイン出力の出力有効/無効を設定する場合にこのボタンを押します。ボタンを押すたびに、設定状態が、メイン出力チャンネル1のみ有効→メイン出力チャンネル2のみ有効→メイン出力チャンネル1、2の両方有効→すべて無効、の順番に変わります。

### ⑫ステレオ入力音量調整つまみ [STEREO1 ~ 4]

入力される信号のレベルに応じて、ステレオ入力音量を調整します。

### ⑬ステレオ入力ミュート設定ボタン [STEREO MUTE]

- 後面ディップスイッチ5番 (☞29ページ) で、ステレオ入力ミュートが「マニュアルモード」に設定されている場合には、このボタンを押すと、ボタンが橙色に点灯し、すべてのステレオ入力チャンネルの音量を下げるすることができます。もう一度押すと、ボタンは消灯し、ステレオ入力チャンネルの音量が元に戻ります。
- 後面ディップスイッチ5番 (☞29ページ) で、ステレオ入力ミュートが「オートモード」に設定されている場合には、このボタンは常に緑色に点灯し、ボタン操作は無効になります。
- ステレオ入力ミュート機能については、40ページをお読みください。

### ⑭パターンメモリーモード表示灯 [PATTERN MEMORY]

- 後面ディップスイッチ3番 (☞29ページ) にて、パターンメモリーモードに選択されているときに橙色に点灯します。

- パターンメモリーモードとステレオ入力チャンネル選択モードはどちらか片方のみ有効となり、両方同時に選択することはできません。
- パターンメモリー機能（設定の保存と呼び出し）については、34ページをお読みください。

### ⑮ステレオ入力チャンネル選択モード表示灯 [STEREO SELECT]

- 後面ディップスイッチ3番 (☞29ページ) にて、ステレオ入力チャンネル選択モードに選択されているときに橙色に点灯します。
- ステレオ入力チャンネル選択機能については39ページをお読みください。

### ⑯パターンメモリー／ステレオ入力チャンネル選択ボタン [1 ~ 4]

- パターンメモリーモード時には、押した番号のパターンメモリーを呼び出します。また、2秒以上押した場合にはその番号のパターンメモリーに設定状態を保存します。
- ステレオ入力チャンネル選択モード時には、押した番号のステレオ入力チャンネルのみ有効となり、他のステレオ入力チャンネルは無効になります。

### ⑰出力音量調整つまみ [MONO1,2、MAIN1,2]

出力される信号のレベルに応じて、出力音量つまみを調整します。

### ⑱パネルロック設定ボタン [PANEL LOCK]

- 2秒以上押すとパネルロック状態になり、橙色に点灯します。このとき、音量調整つまみとパターンメモリーの呼び出し、ステレオミュート設定以外の操作が無効になります。
- 再び2秒以上押すと、パネルロック状態を解除して消灯します。

### ⑲電源スイッチ [POWER]

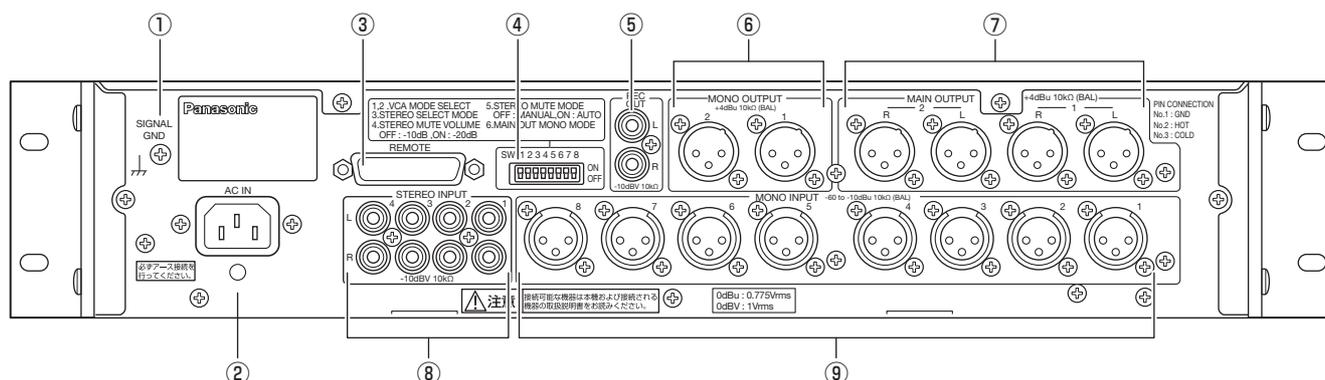
- 電源を「入/切」します。
- 電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は、電源制御ユニットの電源を切ってください。

### ⑳電源表示灯

電源スイッチを「入」にすると、点灯します。

# 各部の名前とはたらき (つづき)

## 後面パネル



### ① SIGNAL GND端子 [SIGNAL GND]

他機器との電位差をなくすため、各機器のSIGNAL GNDと接続します。

### ② 電源入力端子 [AC IN]

付属の電源コードを接続します。接続後は電源コードクランプでコードを固定してください。(電源コードの取り付けかた 16ページ)

### ③ 外部制御入出力端子 [REMOTE]

本機を外部のスイッチやボリュームで制御したり、本機から外部機器のパターン制御をするときに使用します。機能の詳細は20ページをお読みください。

### ④ 設定用ディップスイッチ [SW]

VCA制御チャンネル、パターンメモリーモード/ステレオ入力チャンネル選択モードの設定、ステレオ入力ミュート音量設定、ステレオ入力ミュートのマニュアルモード/オートモードの設定、メイン出力のモノラル設定について、設置前に本スイッチにて設定します。機能の詳細は29ページをお読みください。

### ⑤ 録音用出力端子 [REC OUT]

レコーダーなどへの録音用音声信号を出力する端子です。

### ⑥ モノラル出力端子 [MONO OUTPUT 1,2]

モノラル音声信号の出力端子です。天井スピーカーを拡声するパワーアンプなどへ接続します。

### ⑦ メイン出力端子 [MAIN OUTPUT 1,2]

ステレオ音声信号の出力端子です。メインスピーカーを拡声するパワーアンプなどへ接続します。また、後面ディップスイッチ6番 (16ページ) の設定によって、出力される音声をモノラル信号に変更することもできます。

### ⑧ ステレオ入力端子 [STEREO INPUT 1 ~ 4]

CDプレーヤーなどからのラインレベルのステレオ音声信号を入力する端子です。

### ⑨ モノラル入力端子 [MONO INPUT 1 ~ 8]

マイクやワイヤレスマイクなどのモノラル音声信号を入力する端子です。

# 設置のしかた

## 設置上のお願ひ



### 警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。  
工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

### 本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

### 以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所や温風吹き出し口の近く
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- 温度差の激しく結露しやすい場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 塩害や腐食性ガスの発生する場所
- 水滴や水沫がかかる場所

壁や天井などから10 cm以上離して設置してください。

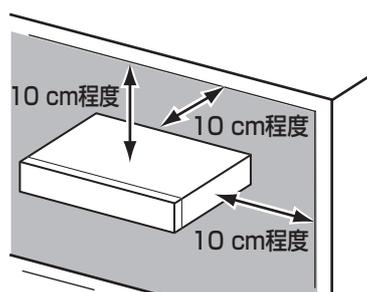
### 雑音源は避ける

- トランシーバー、トランス、調光器、CRTモニターなどからできるだけ離してご使用ください。誘導ノイズを受ける可能性があります。
- 電灯線などの雑音源にケーブルを近づけると、ノイズが発生する場合があります。そのときは、雑音源からできるだけ離すように配線するか、本機の位置を変えてください。

### ラックマウント設置を行うときは

ラックにマウントする場合は、ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内部部品に悪影響を与え故障の原因となります。

据え置きの場合は、壁や天井などから10 cm以上離して設置してください。



### 静電気について

静電気による破損を防止するために、作業をはじめる前に本機以外の金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

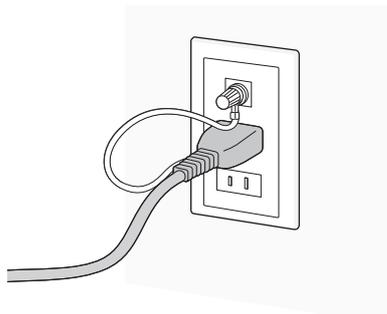
### 取付ねじはしっかりと締める

工事で使用する取付ねじは、指定の締付トルクに従い、しっかりと締めてください。インパクトドライバーはねじを破損させる場合がありますので、使用しないでください。

# 設置のしかた（つづき）

## アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

## 使用電源は

AC100 Vです。消費電力の大きな機器（複写機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

## 電源について

本機は電源スイッチを「切」にしただけでは電源を遮断できません。

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除くすべての極が遮断できるものを使用する。

## アンバランス（不平衡）接続の場合は

シャーシ電位の違いによる誘導ノイズを受けやすくなりますので、各機器間のシャーシ電位を合わせて使用してください。

- 各機器間の電源位相を合わせる
- 電源系統を統一する
- 各機器のグラウンド端子またはシャーシを接続する

## ラックへの取り付けかた

本機は、ラックに取り付けて使用できます。

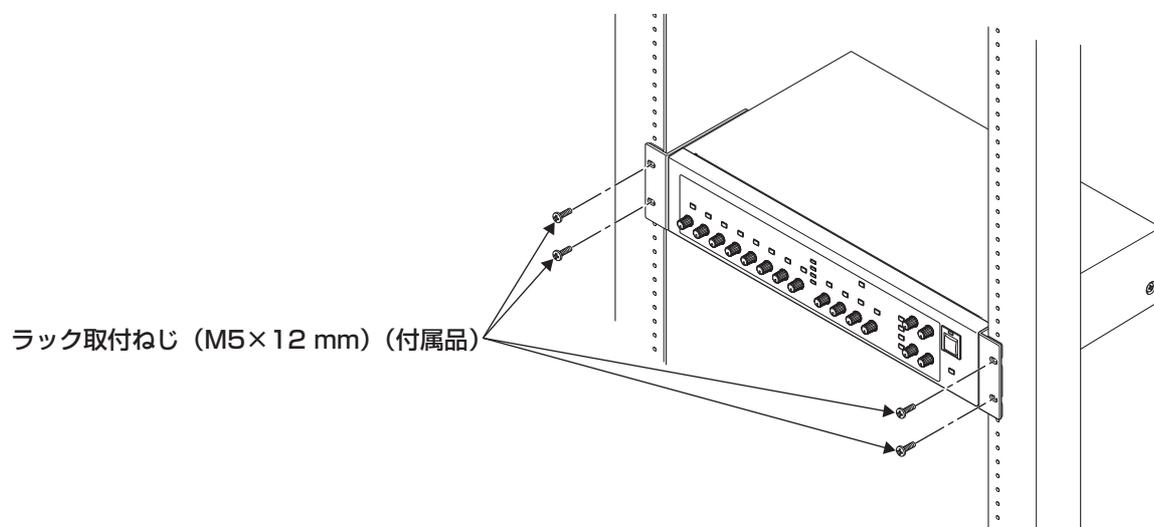
本機を取り付けるラック（別売品）は、次のいずれかを使用してください。

- スタンダードラック : WU-RS80 収納ユニット数29U（当社製）※従来品のWU-RS71もお使いいただけます。
- ロングラック : WU-RL85 収納ユニット数41U（当社製）※従来品のWU-RL76もお使いいただけます。
- EIA規格相当品 : EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

本機をラックに取り付けるときは、付属のラック取付ねじ（M5×12 mm）4本で、確実に固定します。ラック取付ねじ（M5×12 mm）の締付トルクは、157～177 N・cm {16～18 kgf・cm} です。

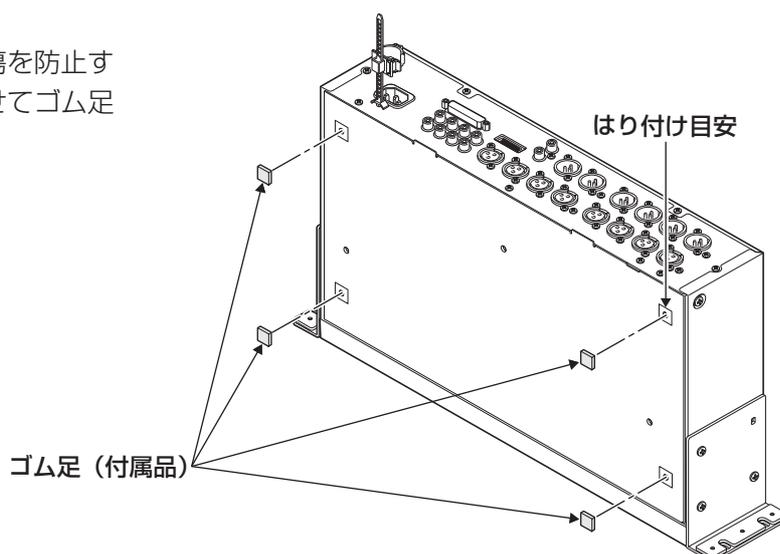
### メモ

- 他社製ラックに取り付ける場合は、付属のラック取付ねじ（M5×12 mm）4本または取り付けを行うラック側で指定のねじを用意してください。



## ゴム足の取り付けかた

本機を卓面に置いて使用するとき、卓面への傷を防止するため、本機の底面にあるはり付け目安に合わせてゴム足4個（付属品）をはり付けて使用してください。

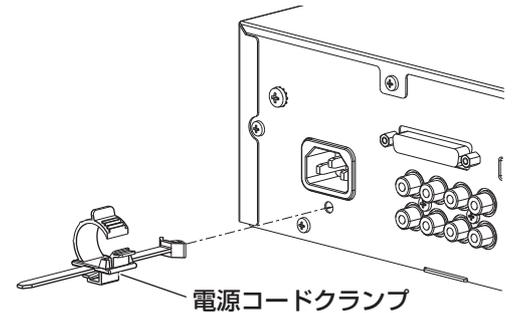


## 設置のしかた (つづき)

# 電源コードの取り付けかた

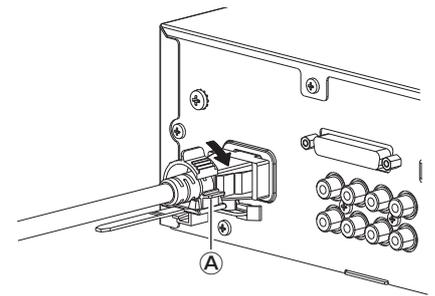
### ●電源コードクランプの取り付け

図のように付属の電源コードクランプを、後面の穴へ差し込んで取り付けます。



### ●電源コードの取り付けについて

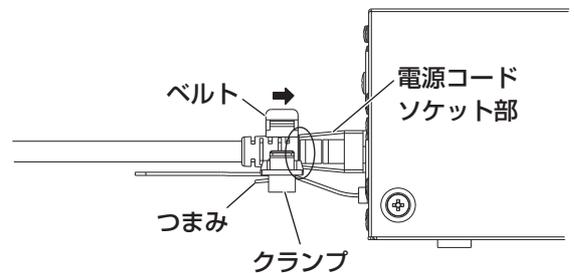
電源コードは電源コードクランプで束線してください。図のように矢印の方向に電源コードをはさみ込み、A部でクランプしてください。



### メモ

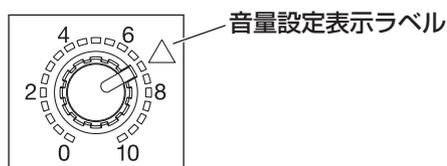
#### ●電源コードのクランプのしかた

- (1) 電源コードをクランプで押さえます。電源コードクランプのベルトを最後まで締めます。
- (2) 電源コードクランプの「クランプ」を図の矢印の方向にスライドさせて、電源コードのソケット部をしっかりと固定します。
- (3) 電源コードクランプを外すときは、図のクランプ部をつまみを操作して外してください。



# 音量設定表示ラベルについて

よく使うつまみの位置を表示したいときには、付属の音量設定表示ラベルを以下のようにはり付けてご利用ください。



# 接続について

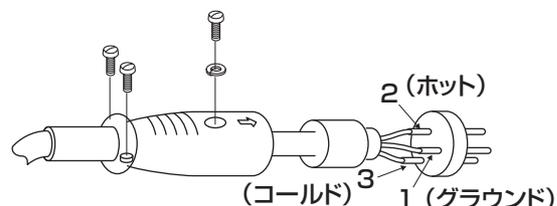
## ケーブルについて

本機を接続するときは、以下のケーブルを使用します。必要に応じて用意してください。  
接続する機器側の端子については、各機器の取扱説明書をお読みください。

### 音声用

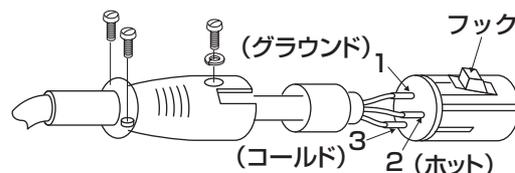
**XLR 3ピン（オス、XLR-3-12C相当）コネクタ付きケーブル**  
モノラル音声入力端子との接続に使用します。

- モノラル音声入力端子に接続するケーブルは必ずシールド線を使用してください。また配線距離が長くなるときは、より誘導ノイズに強い4芯撚りシールド線（4E6など）を使用してください。
- 接触不良によるノイズを避けるために、金メッキプラグを使用してください。
- 不平衡出力機器を接続する場合には、配線距離は10 m以内を目安に配線してください。平衡出力機器を接続する場合にも、配線距離は50 m以内を目安にしてください。
- スピーカー線に近づけないでください。機器の動作が不安定になり、発振する場合があります。



**XLR 3ピン（メス、XLR-3-11C相当）コネクタ付きケーブル**  
メイン出力端子、モノラル出力端子との接続に使用します。

- 必ずシールド線を使用してください。また配線距離が長くなるときは、より誘導ノイズに強い4芯撚りシールド線を使用してください。



### RCAピンプラグケーブル

ステレオ音声入力端子、録音出力端子との接続に使用します。

- 接続するAV機器に付属するコードまたは市販の接続コードを使用してください。
- 製作する場合は、必ずシールド線を使用してください。
- 不平衡入出力のため、配線距離は10 m以内を目安に配線してください。



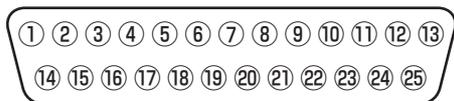
# 接続について (つづき)

## 制御用

パラレル接続ケーブル [Dサブ25ピン (オス) コネクター付きケーブル]

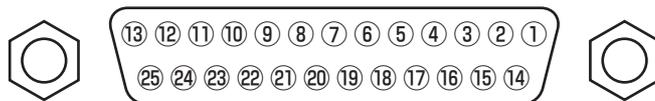
外部制御入出力端子「REMOTE」との接続に使用します。

ケーブル仕様

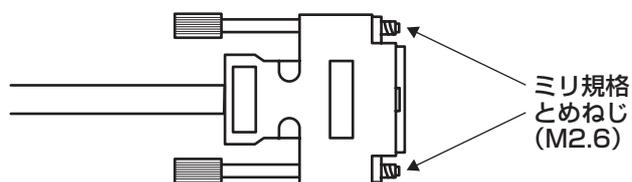


Dサブ25ピン (オス)  
ピン配列

本機端子仕様



Dサブ25ピン (メス)  
ピン配列



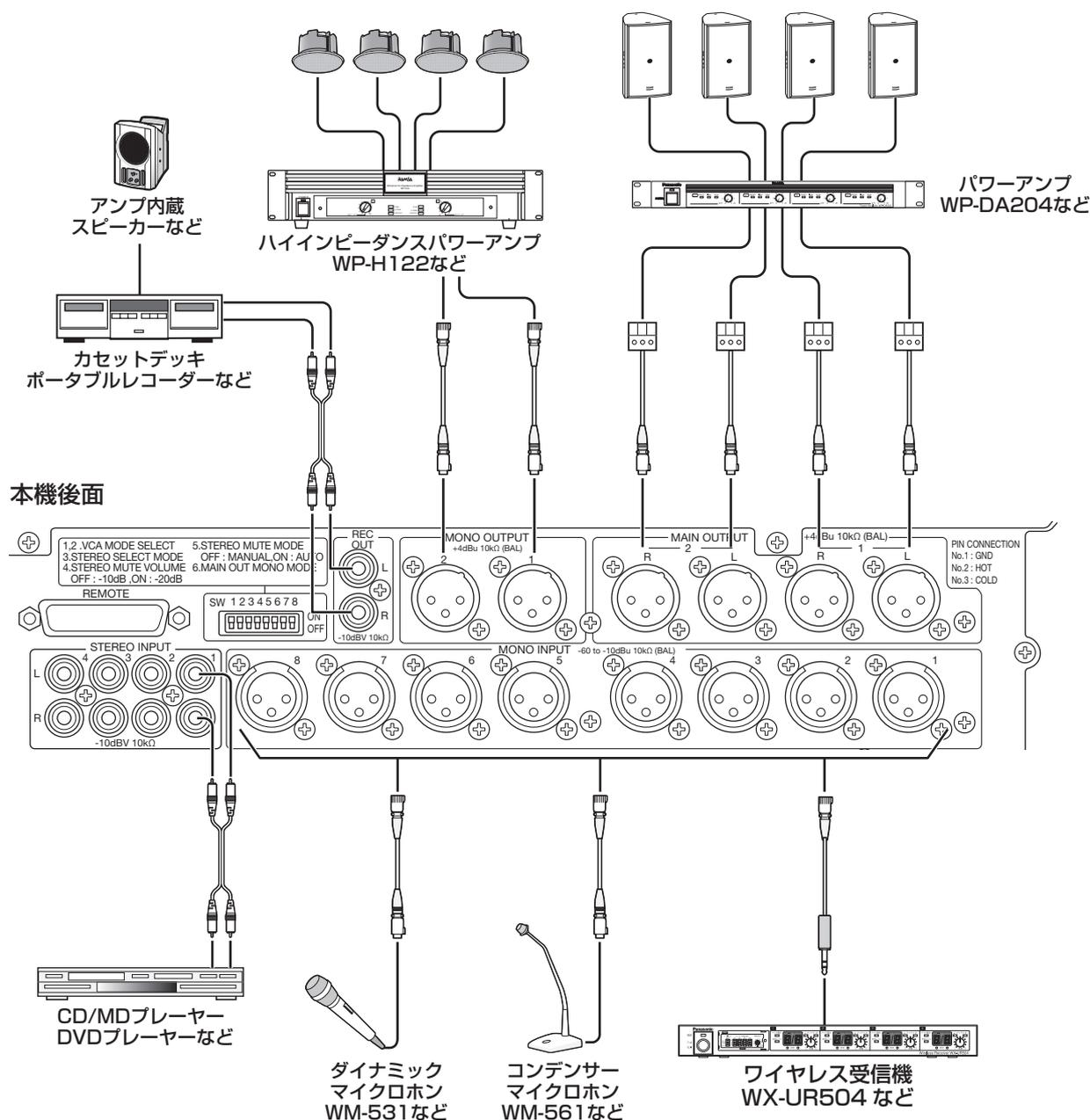
ピン番号	信号名	機能
1	CONT IN 1	制御入力
2	CONT IN 2	制御入力
3	CONT IN 3	制御入力
4	CONT IN 4	制御入力
5	CONT OUT 1	制御出力
6	CONT OUT 2	制御出力
7	CONT OUT 3	制御出力
8	CONT OUT 4	制御出力
9	COMMON	グラウンド
10	VCA 1	VCA入力
11	VCA 2	VCA入力
12	VCA 3	VCA入力
13	VCA 4	VCA入力
14	COMMON	グラウンド
15	VCA CONT 1	制御入力
16	VCA CONT 2	制御入力
17	VCA CONT 3	制御入力
18	VCA CONT 4	制御入力
19	COMMON	グラウンド
20	POWER CONT	制御出力
21	COMMON	グラウンド
22	RESERVE	—
23	RESERVE	—
24	COMMON (VCA)	VCA用グラウンド
25	+3.3V (VCA)	VCA用電源

# 音響機器の接続方法

マイクロホン、パワーアンプなどの音響機器は以下のように接続します。  
 使用する接続ケーブルについては17ページをお読みください。  
 接続する機器側の端子については各機器の取扱説明書をお読みください。

## メモ

- コンデンサーマイクロホンの電源は電池または外部電源を使用してください。  
 また、本機にファンタム電圧がかからないようにしてください。
- 録音内容の確認は別途パワーアンプ、スピーカーを用意してください。録音機器の出力を本機の入力に接続すると録音時の信号ループにより発振することがあります。
- 接続方法、設定方法については各機器の取扱説明書もあわせてお読みください。



# 外部制御入出力端子を使用した外部制御

外部制御入出力端子に別途用意したスイッチやボリュームを接続して、以下のような制御を行うことができます。

- パターンメモリーの呼び出し、または、ステレオ入力チャンネル選択（制御入力、CONT IN 1～4）
- パターンメモリーの状態出力、または、ステレオ入力チャンネル選択状態出力（制御出力、CONT OUT 1～4）
- 入出力の音量制御（VCA入力、VCA 1～4、ボリュームによる多段階制御）
- VCA 1～4による音量制御機能の有効／無効制御（制御入力、VCA CONT 1～4）
- 電源制御ユニット（WU-L61、WU-L67：すべて別売品）のON／OFF制御（制御出力、POWER CONT）

### メモ

- CONT IN 1～4端子、CONT OUT 1～4端子をパターンメモリーの呼び出し、または、ステレオ入力チャンネル選択のどちらの機能で使用するかは、後面ディップスイッチで設定可能です。詳しくは29ページをお読みください。
- VCA 1～4端子にボリュームを接続して音量制御を行う場合、各端子により音量制御する入出力チャンネルを、後面ディップスイッチで設定することができます。詳しくは29ページをお読みください。
- VCA 1～4端子にボリュームを接続して音量制御を行う場合、本体の音量調整つまみと両方で音量を調整します。よって、どちらかで音量を絞り切りに設定すると、音声が出力されなくなります。

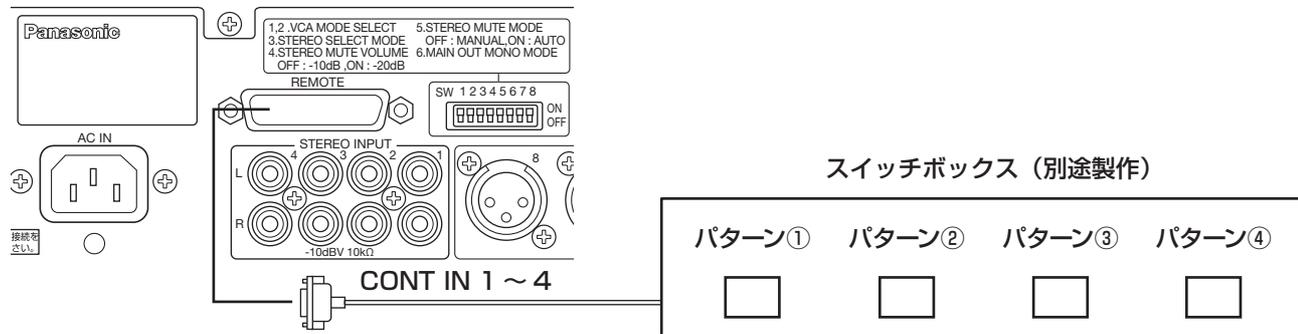
使用する接続ケーブルと端子仕様については17、18ページをお読みください。接続する機器側の端子については各機器の取扱説明書をお読みください。

# 制御入力用機器の接続

外部制御入力端子のCONT IN 1～4にスイッチなどを以下のように接続することで、外部からパターンメモリーの呼び出し、またはステレオ入力チャンネル選択を行うことができます。

パターンメモリー機能、および、ステレオ入力チャンネル選択機能については、34、39ページをお読みください。

## 本機後面



制御入力端子 (CONT IN 1～4) の仕様は以下のようになります。

### 【仕様】

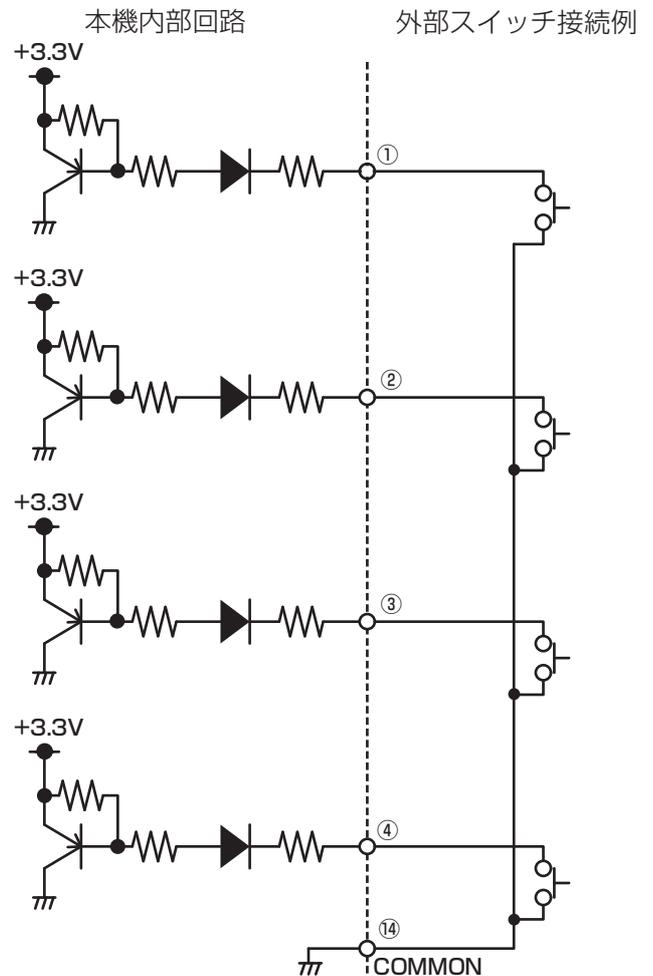
回路形式 : バイポーラ入力  
 内部プルアップ : 2.2 k $\Omega$  / 3.3 V  
 最大入力電圧 : +24 V  
 推奨ケーブル : 一括シールド多芯ケーブル

#### ON条件

端子電圧 : 1 V以下  
 総合抵抗値 : 1 k $\Omega$ 以下  
 ON時間 : 50 ms以上  
 (ノンロック式スイッチの場合)

#### OFF条件

端子電圧 : 3 V以上  
 総合抵抗値 : 30 k $\Omega$ 以上

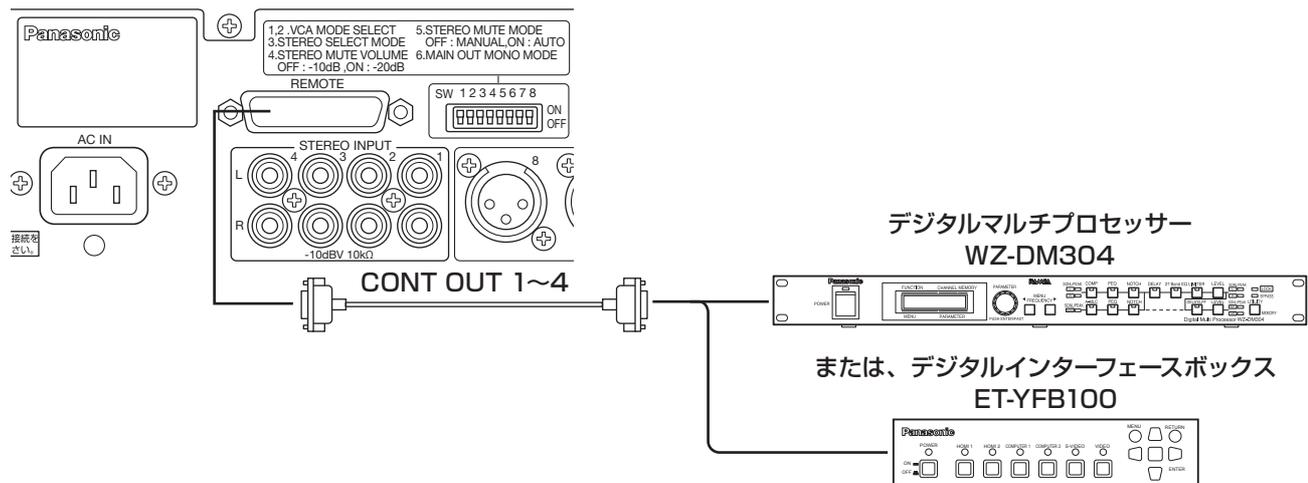


## 制御出力用機器の接続

外部制御入出力端子のCONT OUT 1 ~ 4にデジタルマルチプロセッサ WZ-DM304 (別売品) やデジタルインターフェイスボックスユニット ET-YFB100 (別売品) などを以下のように接続することで、本機でのパターンメモリの呼び出しに連動したパターン選択やステレオ入力チャンネル選択に合わせた出力映像の切り替えなどを行うことができます。

パターンメモリ機能、および、ステレオ入力チャンネル選択機能については、34、37、39ページをお読みください。

### 本機後面



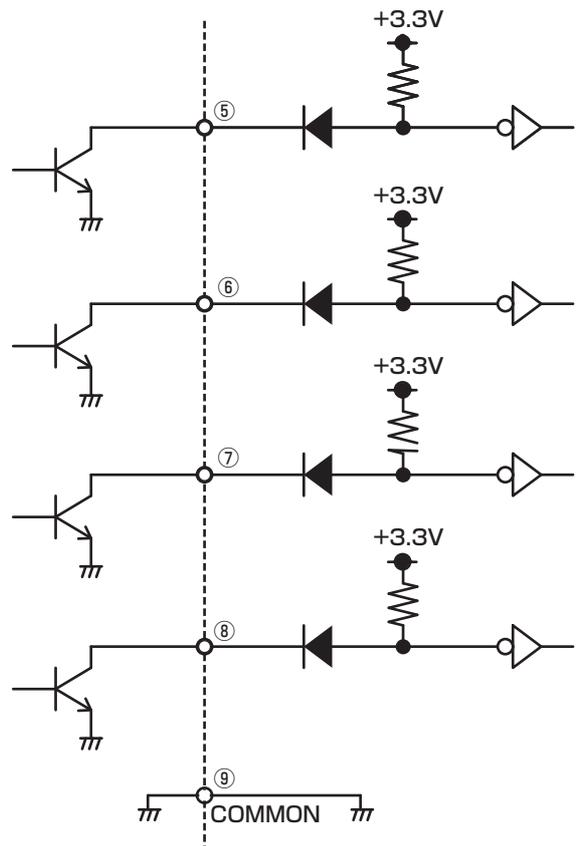
制御出力端子 (CONT OUT 1 ~ 4) の仕様は以下のようになります。

#### 【仕様】

回路形式	: オープンコレクタ出力
許容最大電圧	: 24 V
許容最大電流	: 50 mA
ON時出力電圧	: 0.3 V以下
推奨ケーブル	: 一括シールド多芯ケーブル

#### 本機内部回路

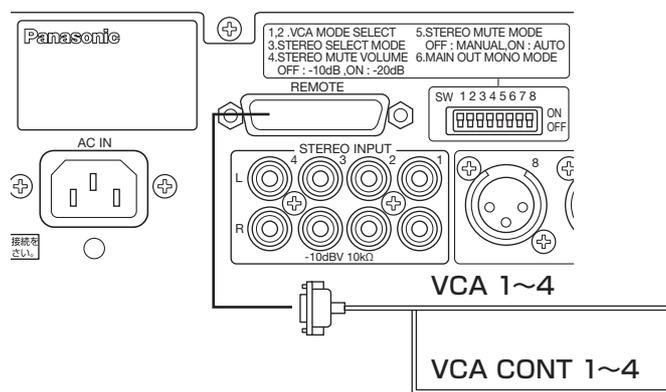
#### 外部機器回路例



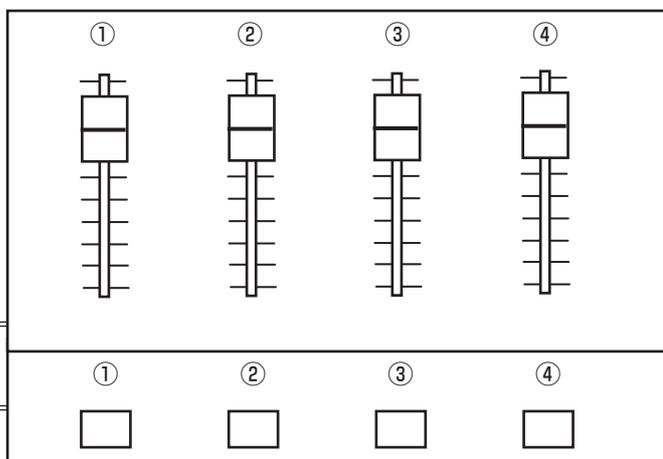
# VCA用フェーダーおよびボリュームの接続

外部制御入出力端子のVCA 1～4端子にフェーダーやボリュームを接続することにより、外部から本機の音量を調整することができます。また、VCA機能を有効にするためには、後面ディップスイッチの1番、2番で、音量を調整したい出力チャンネルの組み合わせを設定し（※29ページ）、さらにVCA機能を有効にしたい系統に対応する番号のVCA CONT 1～4端子をメイクする必要があります。

本機後面



フェーダーボックス（別途製作）



スイッチボックス（別途製作）  
（常時VCA有効の場合でスイッチ制御不要な場合は、COMMON端子へ接続）

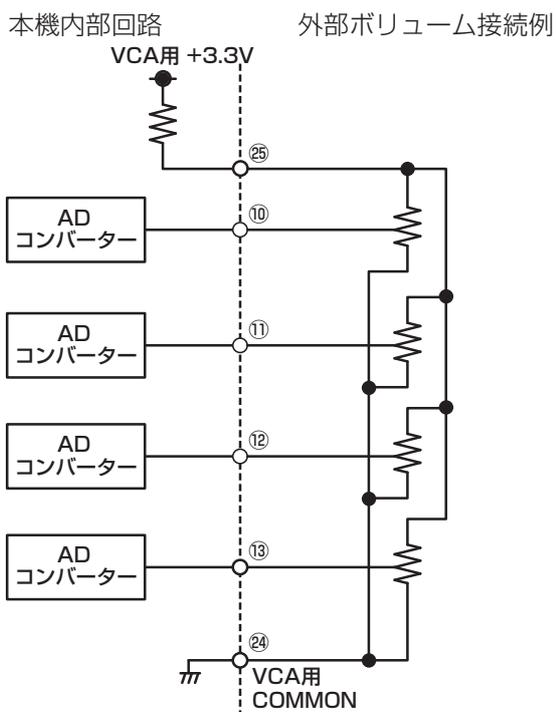
VCA入力端子（VCA 1～4）の仕様は以下のようになります。

## 【仕様】

- 推奨特性 : 10 kΩ Bカーブ
- 推奨ケーブル : 一括シールド多芯ケーブル
- 許容ケーブル抵抗値 : 往復100 Ω以内

※フェーダーやボリュームの電源端子には、外部制御入出力端子25ピンの+3.3 V電源を接続してください。また、フェーダーやボリュームのGND端子には、外部制御入出力端子24ピンのVCA用COMMONを接続してください。

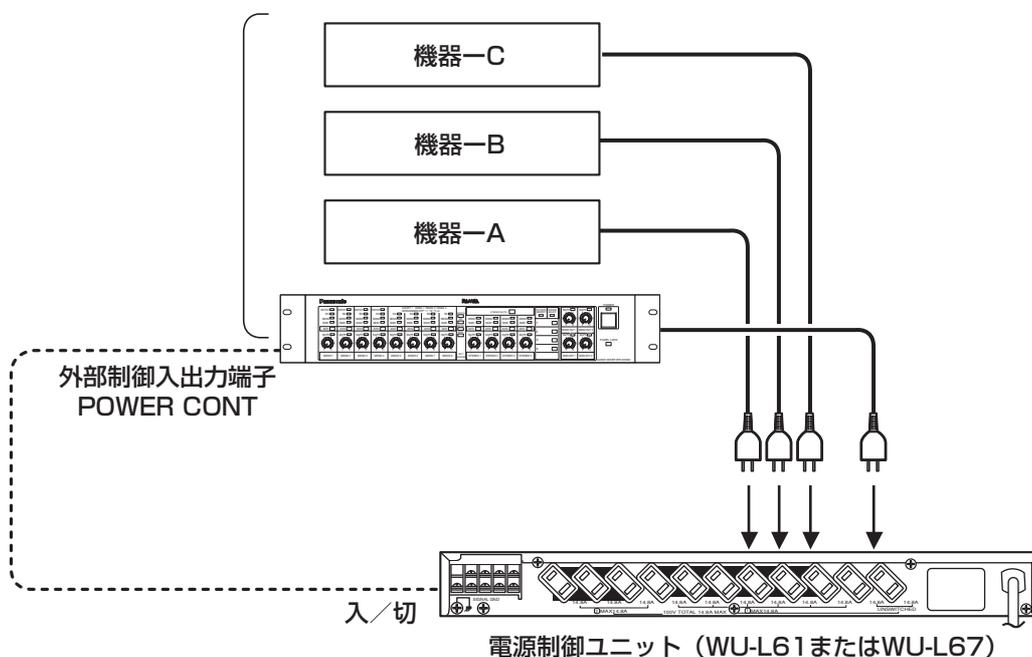
※外部制御入出力端子25ピンからフェーダーやボリューム以外に電源を供給しないでください。また、外部制御入出力端子24ピンにはフェーダーやボリューム以外を接続しないでください。



VCA有効/無効設定用の制御入力端子（VCA CONT IN 1～4）の電気的仕様は、21ページに記載のCONT IN 1～4端子の仕様と同じです。

# 電源制御ユニットの接続

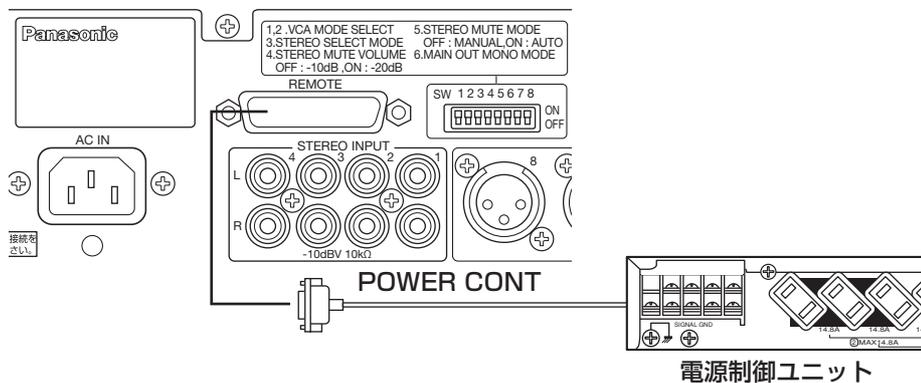
外部制御入出力端子の電源制御出力端子に電源制御ユニット（WU-L61、WU-L67：すべて別売品）を接続することにより、本機の電源スイッチの入／切に合わせて、電源制御ユニットに接続された機器の電源を一括して入／切することができます。



### 重要

- 電源制御ユニットは、系統ごとおよび全体の必要電力容量に応じて、必ず当社のWU-L61（別売品）またはWU-L67（別売品）のどちらかを使用してください。
- 電源スイッチを持つ機器はすべて、必ず常時「入」にしておいてください。
- 電源制御ユニットを使用して全機器の電源を一斉に投入すると、突入電流により主幹側ブレーカーが遮断してしまふことがあります。また、全機器の電源を一斉に遮断すると、タイミングなどによっては音声出力にクリックノイズが発生することがあります。  
これらを防止するために、突入電流が大きいパワーアンプなどは、他機器と電源制御ユニットの出力系統を分けて接続してください。
- 本機の電源は、電源制御ユニットのUNSWITCHEDコンセントに接続してください。それ以外のコンセントに接続すると電源スイッチを「入」にしても、本機の電源が入りません。
- 必ず、電源制御ユニットの電源スイッチを「切（スタンバイ）」にしておいてください。  
「入」になっていると、本機からの電源制御が行えません。  
これを防止するために、電源制御ユニットに付属のスイッチプロテクターを使用することをお勧めします。

本機後面



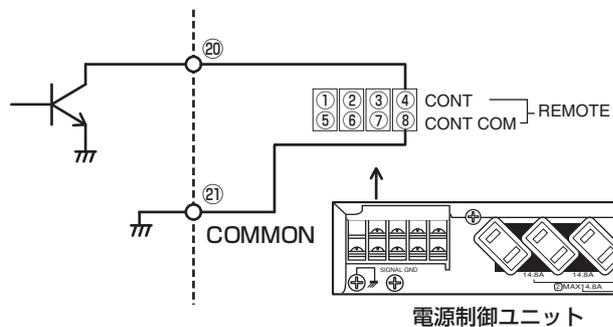
電源制御出力端子（POWER CONT）の仕様は以下のようになります。

【仕様】

- 回路形式 : オープンコレクタ出力
- 許容最大電圧 : 24 V
- 許容最大電流 : 50 mA
- ON時出力電圧 : 0.3 V以下
- 推奨ケーブル : 一括シールド多芯ケーブル

本機内部回路

電源制御ユニット



# システム例

## 会議室、講義室

### 明瞭度の高いスピーチ拡声

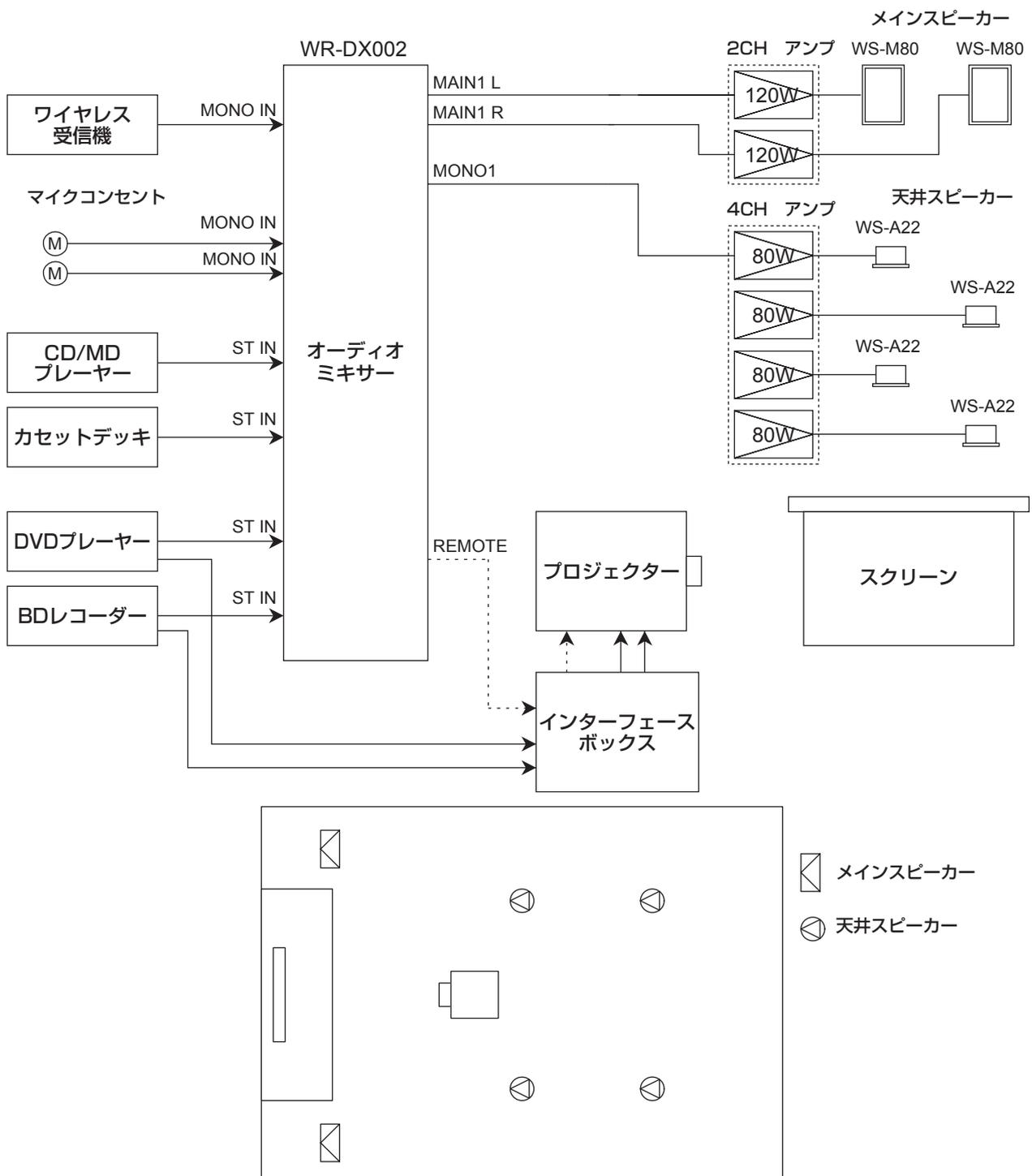
ハウリング抑圧機能とプリセットイコライザーにより、安定した明瞭な拡声が行えます。

### 外部制御出力によりプロジェクターを連動して制御

外部制御出力により、ステレオ入力チャンネル選択モード時にはステレオ入力チャンネル選択状態に合わせて、プロジェクターの入力映像信号も切り替えることができます。

### すべての音声入力について自由に出力先を設定可能

入力信号ごとに出力先を自由に設定できるため、AVソースはメインスピーカーのみへ、マイク音声は天井スピーカーへも出力といったようにソースの種類に応じて最適なスピーカーから出力させることができます。



## 講堂、体育館

### 残響の多い空間での不快なハウリングを抑制

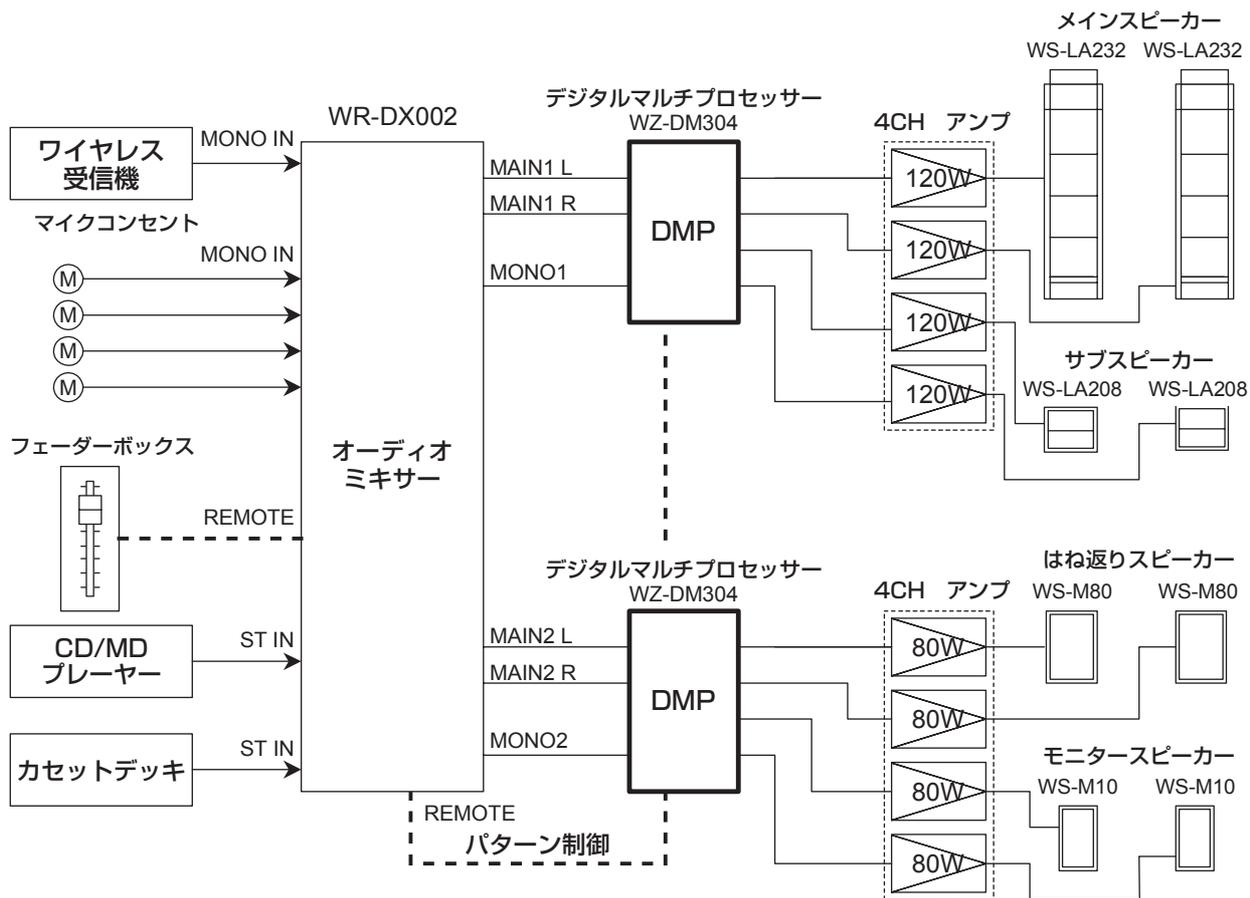
ノッチフィルター方式のハウリング抑制機能により、ハウリングを抑えながら十分な音量で拡声できます。

### ワンタッチでコントロール可能

講演会、式典など、目的に合わせて出力先設定やイコライザー設定等をパターンメモリーしておけば、ワンタッチで最適な設定を呼び出せます。また、外部制御出力を使って、デジタルマルチプロセッサの設定も合わせてワンタッチで呼び出すことができます。

### VCAを使用して離れた位置からの音量調整が可能

VCA機能と外部のフェーダーユニットなどを使って、本機から離れた位置からも音量の調整をすることができます。



# システム例（つづき）

## 商業施設、店舗

### 快適なBGMと明瞭な案内放送を両立

ハウリング抑圧機能に加え、モノラル入力については、プリセット方式のイコライザーにて音質を調整できます。

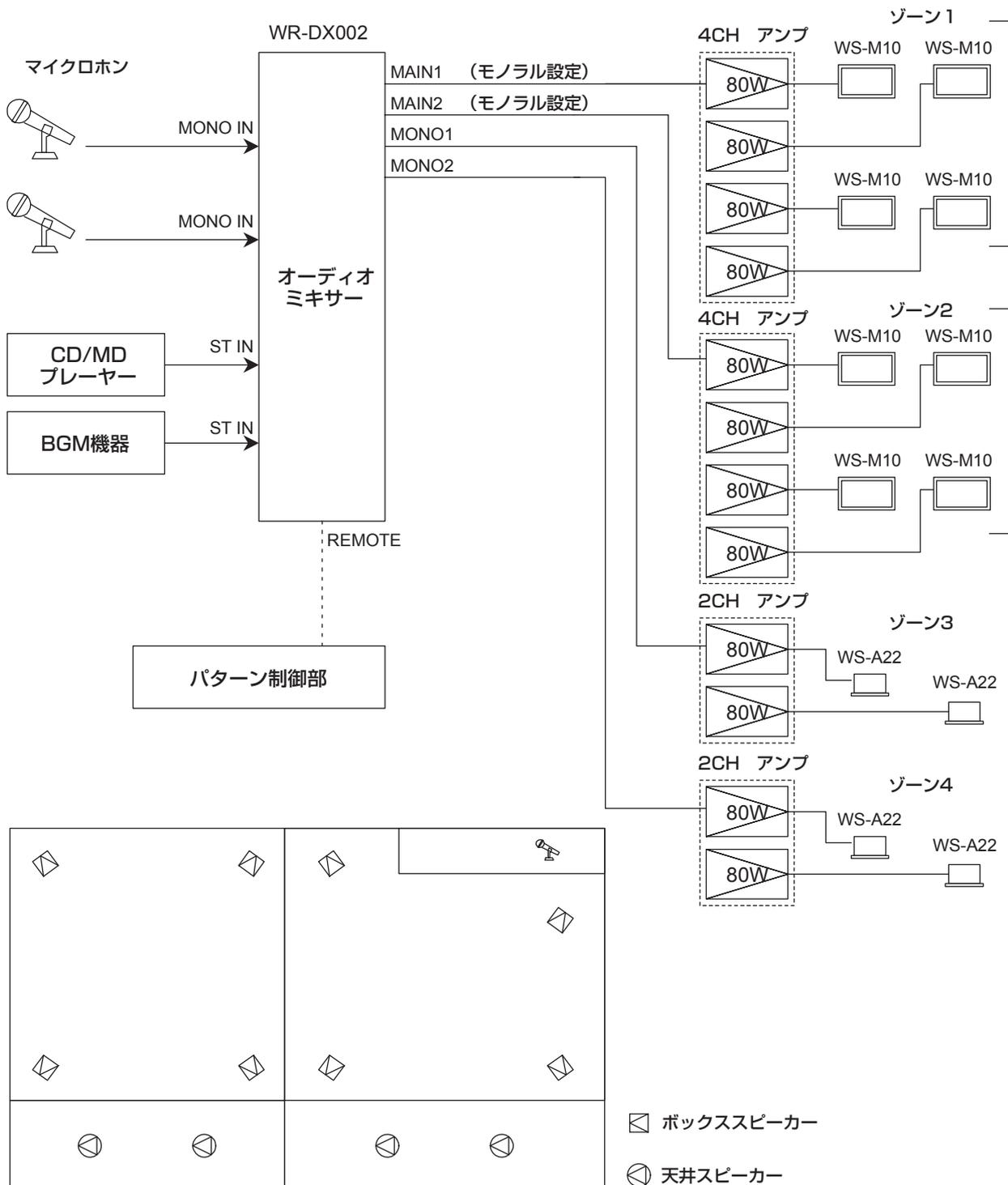
### ワンタッチでコントロール可能

時間帯やイベントに合わせて出力先をパターンメモリーに保存しておけば、ワンタッチでゾーンごとに拡声したいソースを切り替えることができます。

### ゾーンごとの最適拡声

売り場などの複数エリアをゾーンごとに最適な音量で拡声できます。

工事説明



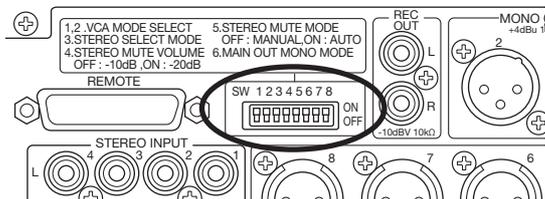
# 調整／設定のしかた

## 後面ディップスイッチの設定

本機の設置前に、後面ディップスイッチにて、各種設定を行います。

- 設定は、本機の電源を切った状態で行ってください。
- お買い上げ時はすべて「OFF」に設定されています。

本機後面



番号	設定名称	設定内容	状態	動作
1 2	VCA制御チャンネル設定	VCA入力で制御する音声入出力チャンネルを設定します。		この表の下にある、VCA制御チャンネル設定表をお読みください。
3	ステレオ入力チャンネル選択モード設定	パターンメモリーモードからステレオ入力チャンネル選択モードに切り替えます。	ON	ステレオ入力チャンネル選択モード
			OFF	パターンメモリーモード
4	ステレオ入力ミュート音量設定	ステレオ入力ミュート時のミュート音量（減衰量）を設定します。	ON	-20 dB
			OFF	-10 dB
5	ステレオ入力ミュートオートモード設定	ステレオ入力ミュートについて、マニュアルモードからオートモードに切り替えます。	ON	オートモード
			OFF	マニュアルモード
6	メイン出力モノラル設定	メイン出力1、2をステレオからモノラルに切り替えます。モノラル時はL出力、R出力から同じ信号が出力されます。	ON	モノラル
			OFF	ステレオ
7	使用しません	-	ON	--
			OFF	--
8	使用しません	-	ON	--
			OFF	--

VCA制御チャンネル設定表

ディップスイッチ設定		設定名称	制御先入出力チャンネル			
1	2		VCA 1	VCA 2	VCA 3	VCA 4
OFF	OFF	出力制御モード	メイン出力1	メイン出力2	モノラル出力1	モノラル出力2
ON	OFF	モノラル入力制御モード	モノラル入力1	モノラル入力2	モノラル入力3	モノラル入力4
OFF	ON	ステレオ入力制御モード	ステレオ入力1	ステレオ入力2	ステレオ入力3	ステレオ入力4
ON	ON	モノラル／ステレオ入力制御モード	モノラル入力1	モノラル入力2	ステレオ入力1	ステレオ入力2

# 出力先の設定

本機を設置し機器の接続が完了したら、各入力チャンネルに対して、出力先の設定を行います。

## STEP1

設定したい入力チャンネルのチャンネル選択ボタンを押します。

## STEP2

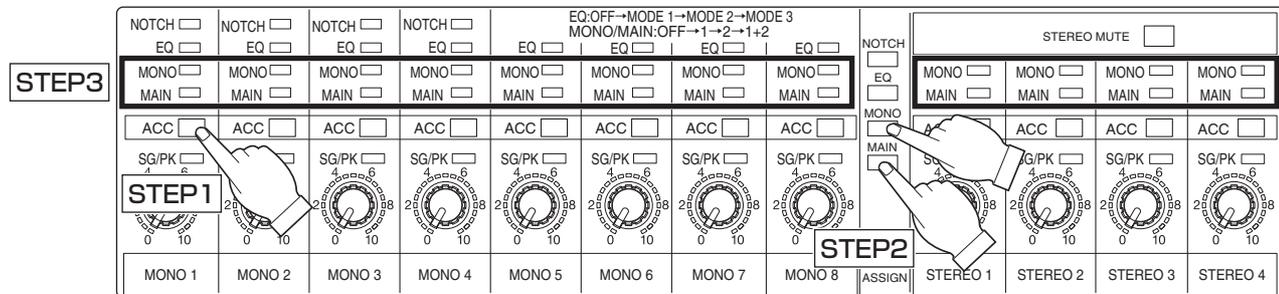
メイン出力への出力先を設定したい場合はメイン出力選択ボタンを、モノラル出力への出力先を設定したい場合はモノラル出力選択ボタンを複数回押します。

メイン出力、モノラル出力ともに、「チャンネル1のみ出力」→「チャンネル2のみ出力」→「チャンネル1、2両方へ出力」→「出力先無し」の順番で変わります。

また、メイン出力設定表示灯とモノラル出力設定表示灯は、「チャンネル1のみ出力」のときには緑色点灯、「チャンネル2のみ出力」のときには赤色点灯、「チャンネル1、2両方へ出力」のときには橙色点灯、「出力先無し」の場合は消灯となります。

## STEP3

メイン出力設定表示灯およびモノラル出力設定表示灯により、正しく設定されていることを確認します。



### メモ

- 工場出荷状態では、すべての入力チャンネルについて、出力先はメイン出力チャンネル1とモノラル出力チャンネル1に設定されています。

# メイン出力のモノラル設定

工場出荷状態では、メイン出力はステレオ仕様ですが、後面ディップスイッチの6番の設定によりモノラル仕様に変更することができます。メイン出力をモノラル仕様にするにより、4つのゾーンに異なる内容のモノラル音声 outputs することができます。

詳しい設定方法は29ページをお読みください。また、そのようなシステムの例としては28ページをお読みください。

# 入力レベルの調整

本機のシグナル／ピーク表示灯を見ながら本機の入力レベル調整を行います。

あらかじめ、すべての機器が接続され、信号が出力されていることを確認してください。

調整したいチャンネルのモノラル入力音量調整つまみ、または、ステレオ入力音量調整つまみを右に回しながら、入力レベルを徐々に上げていきます。シグナル／ピーク表示灯が通常緑色で時々橙色に点灯し、かつ赤色に点灯しないレベルに調整します。

NOTCH <input type="checkbox"/>	NOTCH <input type="checkbox"/>	NOTCH <input type="checkbox"/>	NOTCH <input type="checkbox"/>	EQ: OFF → MODE 1 → MODE 2 → MODE 3				EQ <input type="checkbox"/>	NOTCH <input type="checkbox"/>	STEREO MUTE <input type="checkbox"/>			
EQ <input type="checkbox"/>	EQ <input type="checkbox"/>	EQ <input type="checkbox"/>	EQ <input type="checkbox"/>			EQ <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>				
MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	EQ <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>				
MAIN <input type="checkbox"/>	MAIN <input type="checkbox"/>	MAIN <input type="checkbox"/>	MAIN <input type="checkbox"/>	MAIN <input type="checkbox"/>	EQ <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>				
ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>	ACC <input type="checkbox"/>				
SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	MONO <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>	SG/PK <input type="checkbox"/>				
									MAIN <input type="checkbox"/>				
MONO 1	MONO 2	MONO 3	MONO 4	MONO 5	MONO 6	MONO 7	MONO 8	SET/ ASSIGN		STEREO 1	STEREO 2	STEREO 3	STEREO 4

# イコライザーの設定

本機はすべてのモノラル入力にあらかじめ3モードの特性を持つプリセット方式のイコライザーを用意しています。このモードを切り替えることにより、適切な音質に調整することができます。

各モードのイコライザー特性は以下のとおりです。

モード1：有線マイクなど使用時で、明瞭度が足りない場合に使用します。

モード2：ハンド型ワイヤレスマイクなど使用時で、低域が足りない場合に使用します。

モード3：タイピン型ワイヤレスマイクなどオフマイクで使用時に、明瞭度と低域が足りない場合に使用します。

## STEP1

設定したい入力チャンネルのチャンネル選択ボタンを押します。

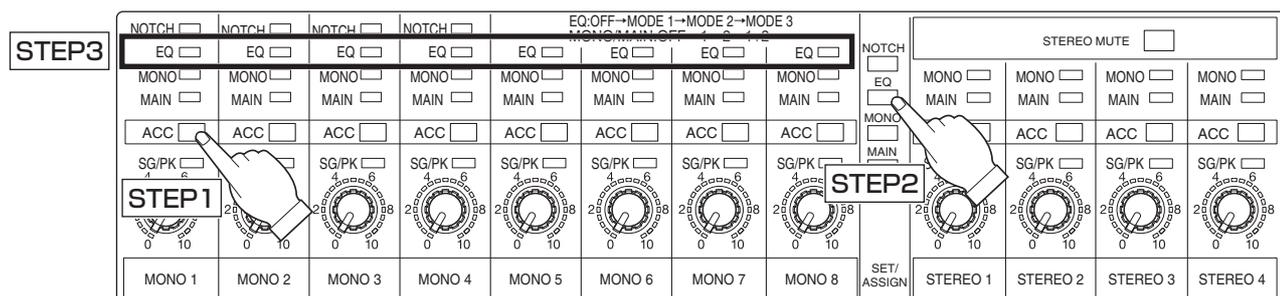
## STEP2

イコライザー選択ボタンを複数回押します。

イコライザー選択ボタン押すたびに、「モード1」→「モード2」→「モード3」→「無効」の順番で変わります。イコライザー設定表示灯は、「モード1」のときには緑色点灯、「モード2」のときには赤色点灯、「モード3」のときには橙色点灯、「無効」の場合は消灯となります。

## STEP3

イコライザー設定表示灯により、正しく設定されていることを確認します。



## メモ

- 工場出荷状態では、すべての入力チャンネルについて、イコライザー機能は無効となっています。

# ハウリングサプレッサーの設定

ハウリングサプレッサーとは、常に音声のハウリングを検出し、ハウリングが起きたらすぐにハウリングの周波数にノッチフィルター（狭い周波数帯域のみを除去するフィルター）を自動的に入れて、ハウリングを抑える機能です。

## メモ

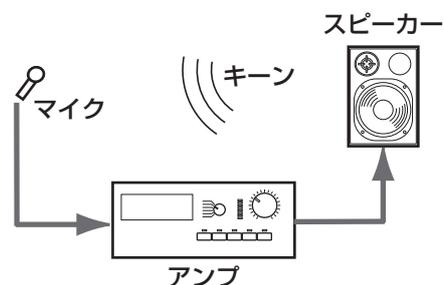
### ●ハウリングとは

マイクロホンとスピーカーの距離が近すぎたり、拡声音量が大きすぎたりするときに、スピーカーで拡声した音をマイクロホンが拾い、さらにスピーカーでどんどん大きく拡声されて、「ブーン」「キーン」といった特定の高さの音が聞こえたり、マイクロホンで話しているときに声がキンキン残ったり響いたりする現象です。

### ●ハウリングを起こさないために

まず、以下のことを行った上で本機能をお使いいただくことをお勧めします。

1. マイクロホンとスピーカーの距離を離す。また、指向性マイクロホンをお使いの場合、マイクロホンがスピーカーの方向に向いている場合は、マイクロホンの向きかスピーカーの位置を調整する。
2. 無指向性マイクロホンをお使いの場合、可能ならば指向性マイクロホンを使う。一般に単一指向性マイクロホンや超指向性マイクロホンを使うと、無指向性マイクロホンに比べてハウリングが起きにくくなります。



## STEP1

設定したい入力チャンネルのチャンネル選択ボタンを押します。

## STEP2

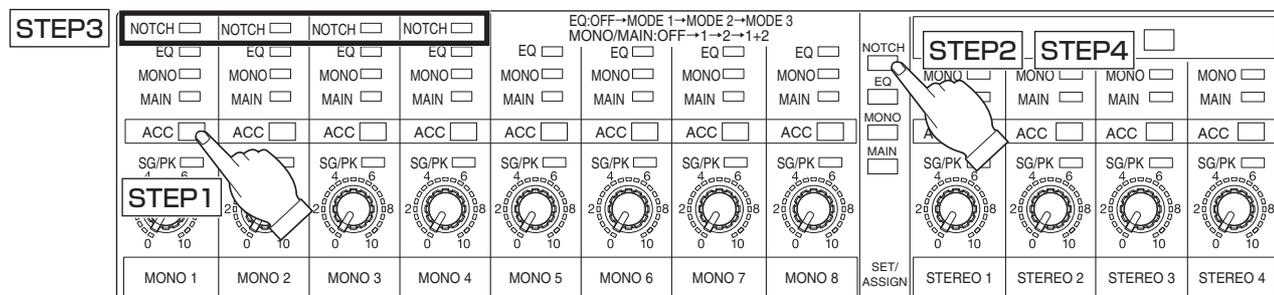
ハウリングサプレッサー設定ボタンを押します。

## STEP3

ハウリングサプレッサー設定表示灯が橙点灯することを確認します。

## STEP4

ハウリングサプレッサー機能を無効にしたい場合は、もう1回ハウリングサプレッサー設定ボタンを押します。ハウリングサプレッサー設定表示灯が消灯します。



## メモ

●工場出荷状態では、すべての入力チャンネルについて、ハウリングサプレッサー機能は無効となっています。

# 設定の保存と呼び出し

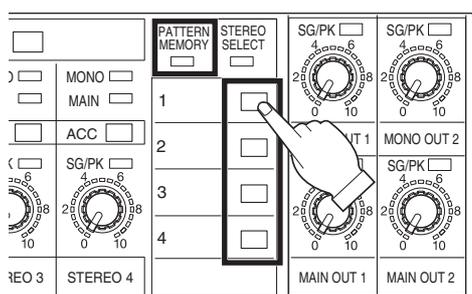
パターンメモリーモードの場合に、ハウリングサプレッサー機能やイコライザー機能の有効／無効、出力先の設定、マニュアルモード時のステレオミュートの有効／無効設定を4パターンまでメモリーに保存でき、パターンメモリーを呼び出すことで設置会場の運用やイベントの進行に応じた設定変更が可能です。パターンメモリーモード時には、パターンメモリーモード表示灯が橙点灯します。

## 設定の保存

保存したい番号のパターンメモリー／ステレオ入力チャンネル選択ボタンを2秒以上、長押しします。押したボタンが橙点滅し、設定の保存が完了すると橙点灯します。

## 設定の呼び出し

呼び出ししたい番号のパターンメモリー／ステレオ入力チャンネル選択ボタンを押します。設定の呼び出しが完了すると、押したボタンが橙点灯します。



### 重要

- すでに保存済みの番号に、再び保存操作を行うと、以前のパターンメモリーの内容は新しい設定状態に上書きされます。古い情報は消去されます。
- ステレオ入力チャンネル選択モードの場合には、設定の保存および呼び出しはできません。パターンメモリーモードとステレオ入力チャンネル選択モードの切り替えは後面ディップスイッチ3番にて行います。詳細は29ページをお読みください。
- パネルロックが有効な場合には、設定の保存はできません。設定の呼び出しはできます。

### メモ

- パターンメモリーの保存、または、呼び出しを行い選択状態になった場合、外部制御入出力端子のメモリー番号に対応するCONT OUT出力がメイクされます。
- パターンメモリーの保存、または、呼び出しの後に、ハウリングサプレッサー、イコライザー、出力先設定、マニュアルモード時のステレオミュートの有効／無効を操作すると、パターンメモリー選択状態を解除して、ボタンを消灯します。

# パネルロックの設定

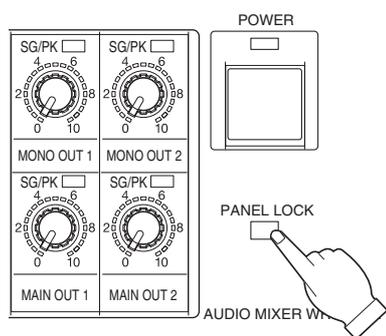
誤操作防止のために、ハウリングサプレッサー機能やイコライザー機能の設定、出力先設定、パターンメモリーの保存については、パネルロック機能を有効にすることで、設定操作を無効にすることができます。

## STEP1

パネルロック設定ボタンを2秒以上、長押しすると、橙色点灯してパネルロック状態になります。

## STEP2

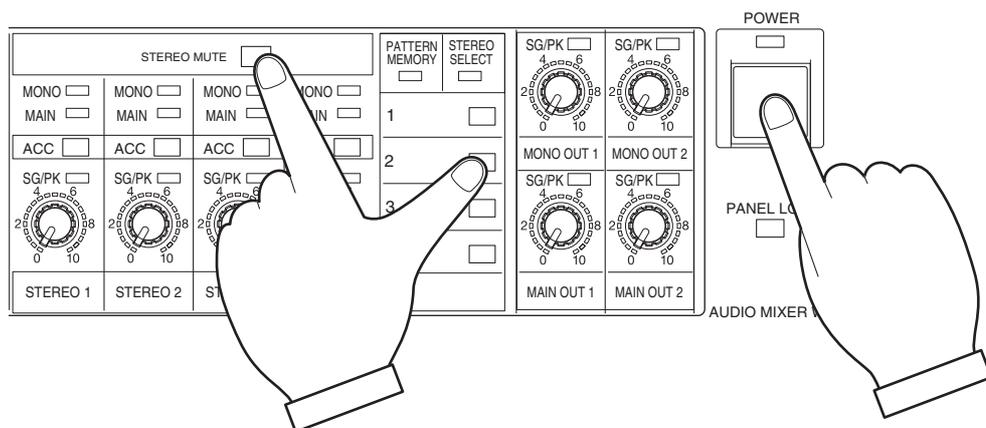
再び、パネルロック設定ボタンを2秒以上、長押しすると、消灯してパネルロック状態を解除します。



パネルロック状態のときにロック対象機能を操作すると、パネルロック設定ボタンのLEDが点滅して、操作した機能がロックされていることをお知らせします。

# お買い上げ時の設定に戻すには

ステレオミュート設定ボタンと、パターンメモリー／ステレオ入力チャンネル選択ボタンの2番を同時に押しながら電源を「入」にします。



お買い上げ時の設定内容は46ページをお読みください。

# 操作のしかた

## 電源の入れかた

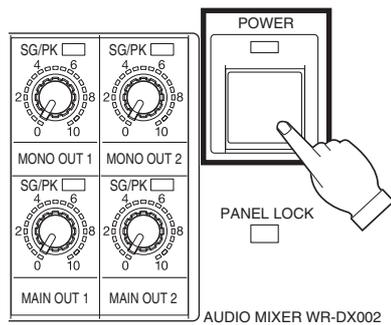
電源は入力機器側から順に入れてください。

### STEP 1

入力機器（CDプレーヤー、マイクなど）の電源を入れます。

### STEP 2

本機の電源スイッチを押して、電源を入れます。  
電源表示灯が緑色点灯します。



### STEP 3

アンプの電源を入れます。

#### 警告

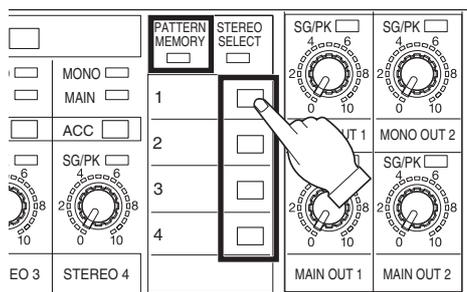
- 過大入力によるスピーカーの破損や、突然大きな音が出て耳を痛めるなどのけがを防止するために、上記の手順を必ずお守りください。

#### メモ

- 電源を入れたときは、前回電源を切ったときの設定が復元されます。

# パターンメモリーの呼び出し

必要に応じて、呼び出ししたい番号のパターンメモリー／ステレオ入力チャンネル選択ボタンを押します。操作方法の詳細は34ページをお読みください。



## 重要

- ステレオ入力チャンネル選択モードの場合には、パターンメモリーの呼び出しはできません。パターンメモリーモードとステレオ入力チャンネル選択モードの切り替えは後面ディップスイッチ3番にて行います。詳細は29ページをお読みください。

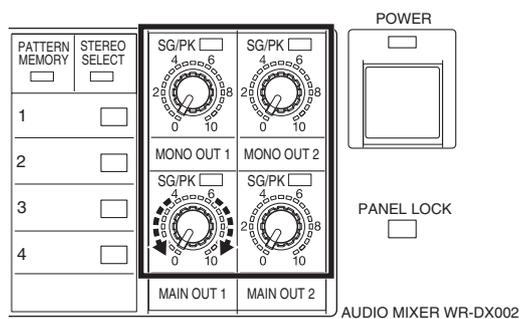
# 操作のしかた（つづき）

## 音を出す

シグナル／ピーク表示灯を見ながら本機の出カレベルの調整を行います。

あらかじめ、入力チャンネルの音量調整つまみの位置やシグナル／ピーク表示灯、出力設定表示灯を見て、信号が出力システムまで来ていることを確認してください。

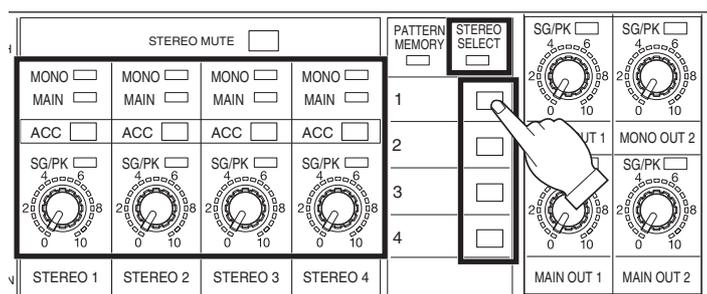
調整したい出力チャンネルの出力音量調整つまみを回しながら、出力レベルを徐々に上げていきます。シグナル／ピーク表示灯が通常緑色で時々橙色に点灯し、かつ赤色に点灯しないレベルに調整します。



# ステレオ入力チャンネルの選択

ステレオ入力チャンネル選択モードのとき、パターンメモリー／ステレオ入力チャンネル選択ボタンを押すことで、その番号のステレオ入力チャンネルのみを有効にして、他のステレオ入力チャンネルからの出力を無効にすることができます。ステレオ入力チャンネル選択モードの場合には、ステレオ入力チャンネル選択モード表示灯が橙点灯しています。

選択されているステレオ入力チャンネルのみ、メイン／モノ出力設定表示灯、シグナル／ピーク表示灯、および、チャンネル選択ボタンが有効で、それ以外の選択されていないステレオ入力チャンネル表示はすべて消灯し、チャンネル選択ボタンも無効になります。



## 重要

- パターンメモリーモードの場合には、ステレオ入力チャンネルの選択はできません。パターンメモリーモードとステレオ入力チャンネル選択モードの切り替えは後面ディップスイッチ3番にて行います。詳細は29ページをお読みください。

## メモ

- ステレオ入力チャンネル選択モードの場合、選択しているチャンネル番号の制御出力（外部制御入出力端子）が有効になります。
- 出力先設定は、すべてのステレオ入力チャンネルで同じになります。  
あるステレオ入力チャンネルで出力先設定を変更した後に他のステレオ入力チャンネルを選択すると、選択されたチャンネルの出力先設定も変更した内容と同じになります。

## ステレオ入力ミュートの使いかた

BGMを再生したままマイク放送をしたい場合などに、ステレオ入力ミュート機能ですべてのステレオ入力チャンネルの音量を下げるすることができます。

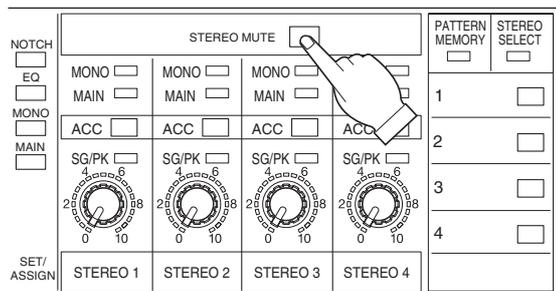
### マニュアルモード時

#### STEP1

ステレオ入力ミュート設定ボタンを押すと、橙色点灯してステレオ入力ミュート状態になり、すべてのステレオ入力チャンネルの音量を後面ディップスイッチの設定によって-10 dBまたは-20 dB下げます。

#### STEP2

再び、ステレオ入力ミュート設定ボタンを押すと、消灯してステレオ入力ミュート状態を解除して、すべてのステレオ入力チャンネルの音量を元に戻します。



### オートモード時

ステレオ入力ミュート設定ボタンが常時緑色点灯します。モノラル入力1または2に信号が入ると自動的にすべてのステレオ入力チャンネルの音量を後面ディップスイッチの設定によって-10 dBまたは-20 dB下げます。モノラル入力1または2に入っていた信号が止まると、すべてのステレオ入力チャンネルの音量を元に戻します。

#### メモ

- 後面ディップスイッチ4番の設定で、ミュート音量を切り替えることができます。また、後面ディップスイッチ5番の設定で、マニュアルモードとオートモードとを切り替えることができます。詳しい設定方法は29ページをお読みください。

# 電源の切りかた

電源を入れたときと逆の手順で切ります。

## STEP1

アンプの電源を切ります。

## STEP2

本機の電源スイッチを押して、電源を切ります。

## STEP3

入力機器（CDプレーヤー、マイクなど）の電源を切ります。

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

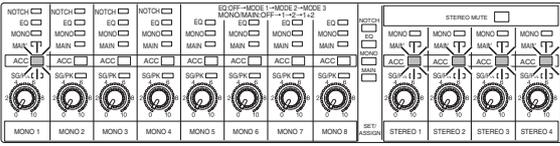
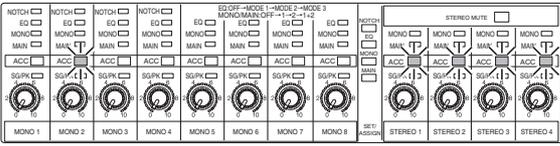
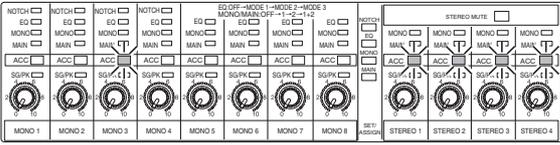
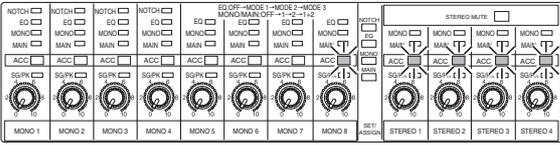
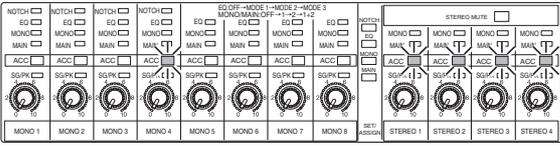
現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？あるいは電源コードが本機から抜けていませんか？ 電源コードを正しく接続してください。	16
	●電源スイッチが「切」になっていませんか？ 電源スイッチを「入」にしてください。	36
	●外部制御入力端子の電源制御出力端子を使用時に、電源プラグが電源制御ユニットのUNSWITCHED以外のコンセントに接続されていませんか？ UNSWITCHEDコンセントに接続してください。	24
音が出ない	●音量つまみが絞りにきりになっていませんか？ 音量の調整をしてください。	31、38
	●VCA端子に接続されたフェーダーやボリュームが絞り切りになっていませんか？ VCA端子に接続されたフェーダーやボリュームを適切なレベルに調整してください。	23
操作を受け付けない	●パネルロック状態になっていませんか？ パネルロックを解除してください	35
音が歪む	●入力、出力のシグナルピーク表示灯が赤色に点灯していませんか？ 接続機器の音量および本機の音量調整つまみを調整してください。	31、38
音がノイズっぽい	●入力レベルが低すぎてシグナルピーク表示灯が消灯していませんか？ 接続機器の音量および本機の音量調整つまみを調整してください。	31、38

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる	●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	—
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする		

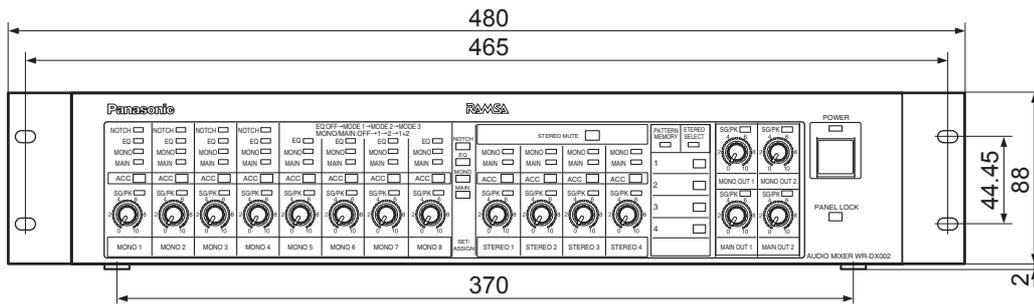
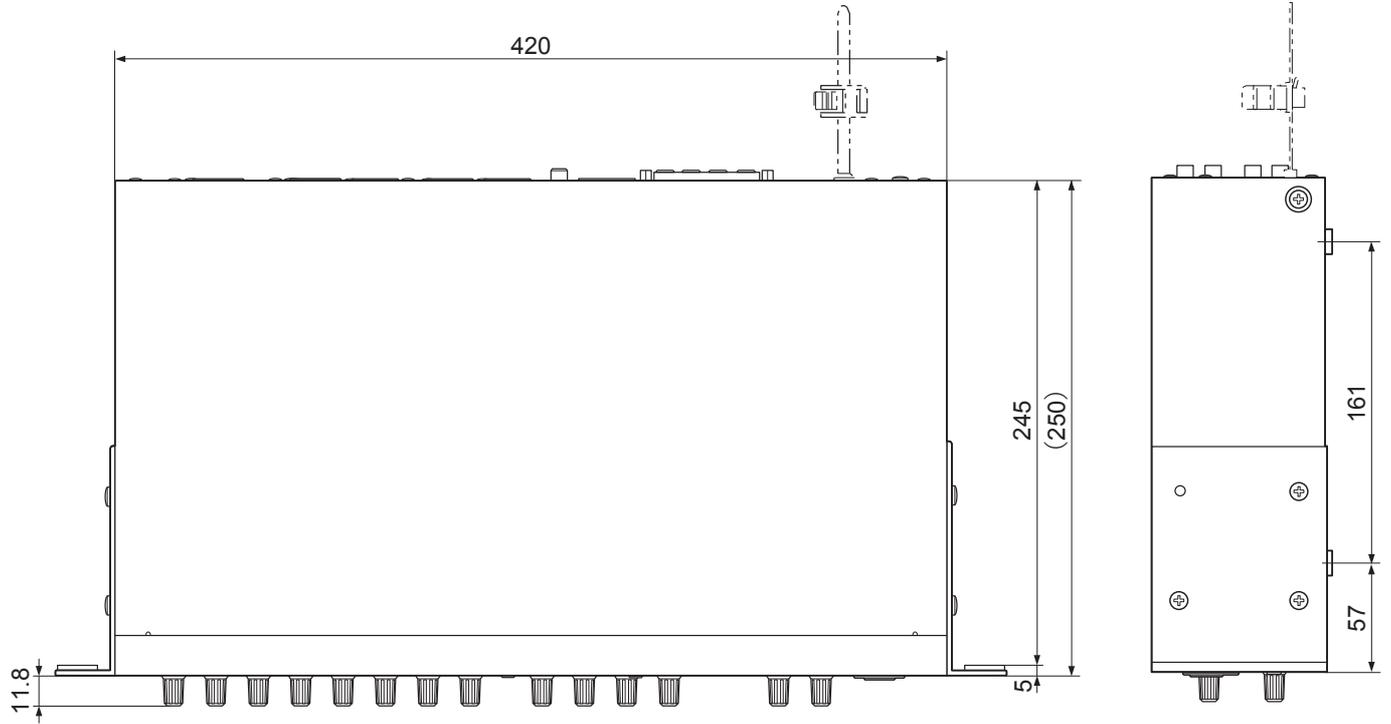
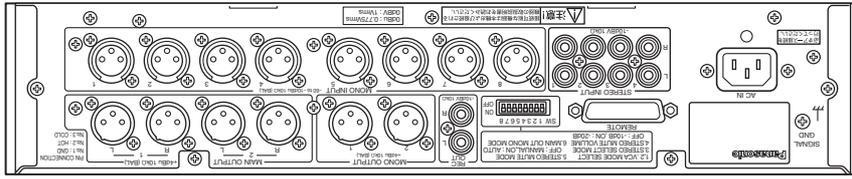
# エラーメッセージ

パネルの状態と、その原因と対処方法について説明します。

状 況	パネル表示	原 因 ・ 対処方法
<p>電源投入時 パターンメモリの保存 操作時</p>	 <p>モノラル入力1とステレオ入力1～4のチャンネル選択ボタンが赤色点滅します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部メモリのアクセスでエラーが発生しています。電源を「切」にして、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>
<p>電源投入時</p>	 <p>モノラル入力2とステレオ入力1～4のチャンネル選択ボタンが赤色点滅します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音声信号処理部と通信エラーが発生しました。音声信号処理部の故障が考えられます。電源を「切」にして、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>
<p>電源投入時 設定変更時 パターンメモリの呼び 出し操作時</p>	 <p>モノラル入力3とステレオ入力1～4のチャンネル選択ボタンが赤色点滅します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音声信号処理部と通信エラーが発生しました。音声信号処理部の故障が考えられます。電源を「切」にして、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>
<p>パターンメモリの呼び 出し操作時</p>	 <p>モノラル入力8とステレオ入力1～4のチャンネル選択ボタンが赤色点滅します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パターンメモリのデータが異常のため、パターンメモリの呼び出しに失敗しました。本機は、パターンメモリ呼び出し操作前の設定で動作します。本体での操作や外部制御入出力端子からの制御等で設定を変更する操作を行ったときにエラー表示が消えます。</li> </ul>
<p>—</p>	 <p>モノラル入力4とステレオ入力1～4のチャンネル選択ボタンが赤色点滅します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何らかの原因で制御部に異常が発生しています。電源を「切」にして、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>

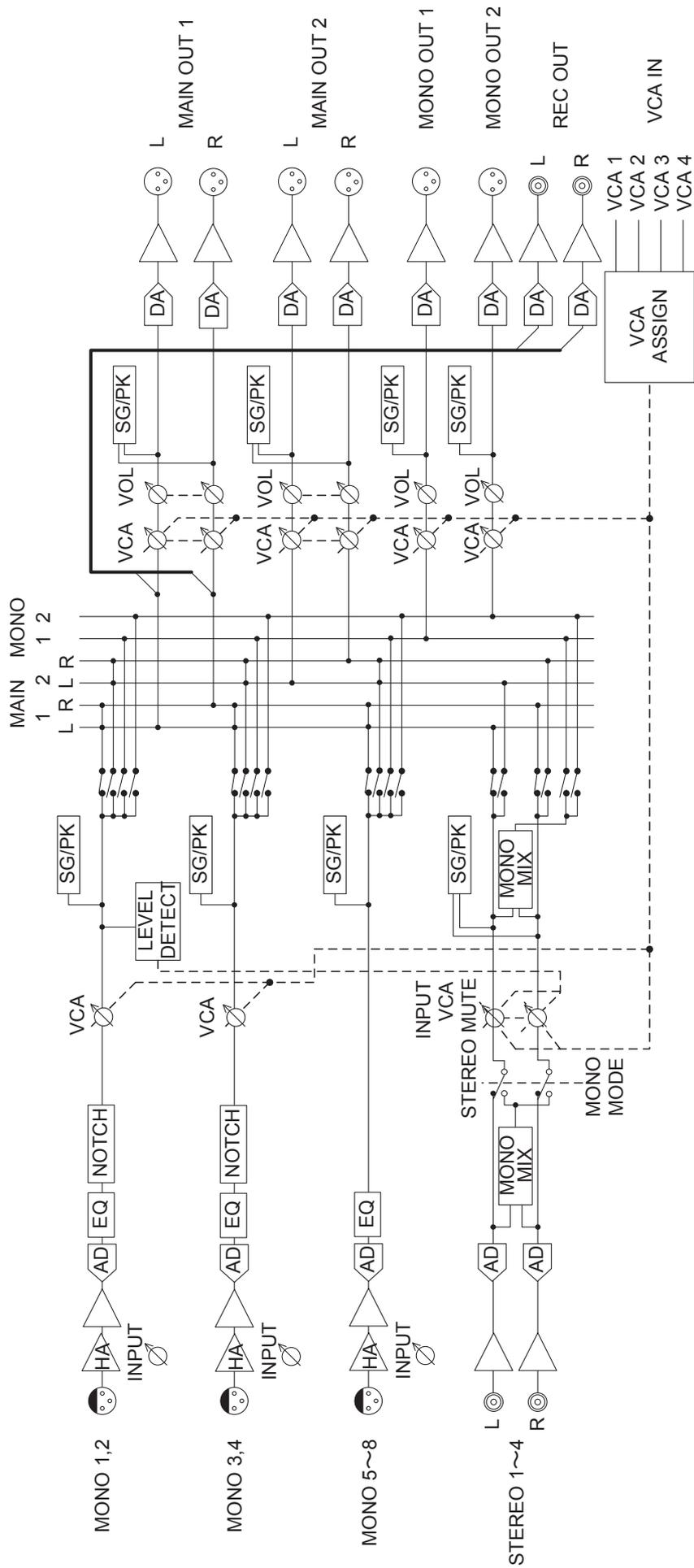
必要なとき

# 外形寸法図



必要なとき

# 系統図



必要なとき

# お買い上げ時の設定

設定項目	対象チャンネル	設定値
ハウリングサプレッサー	モノラル入力1～4	無効
イコライザー	モノラル入力1～8	無効
出力先設定	モノラル入力1～8 ステレオ入力1～4	メイン出力チャンネル1とモノラル出力チャンネル1が有効 その他は無効
ステレオミュート	—	マニュアルモード、無効
ステレオミュート音量	—	−10 dB
パターンメモリー機能／ステレオ入力チャンネル選択機能 切替	—	パターン選択
パターン番号選択	—	非選択
VCA制御チャンネル	—	メイン出力チャンネル1、2 モノラル出力チャンネル1、2
VCA 有効／無効	1～4	無効
メイン出力 モノラル設定	1、2	無効
パネルロック	—	無効

# 仕様

## ● 基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz	
使用温度範囲	0 °C ~ 45 °C	
消費電力	18 W (電気用品安全法上の消費電力)	
外形寸法	幅 480 mm 高さ 88 mm 奥行き 250 mm (突起部含まず)	
質量	約4.9 kg	
仕上げ	パネル	黒色 (マンセルN1近似色)、ABS樹脂
	本体	黒色 (マンセルN1近似色)、塗装鋼板
外部制御	コネクター	D-SUB 25ピン (メス)
	接点制御入力	メイク接点方式、4系統、逆流防止ダイオード内蔵
	接点制御出力	メイク接点方式、4系統、オープンコレクタ方式
	電源制御出力	メイク接点方式、1系統、オープンコレクタ方式
	VCA制御入力	電源電圧 +3.3 V、10 kΩ B特性 推奨
	VCA ON/OFF制御入力	メイク接点方式、4系統、逆流防止ダイオード内蔵
音声性能 (総合)	周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
	全高調波歪率	0.1 %以下
	ダイナミックレンジ	100 dB Typ.*1
	入力換算雑音	-126 dBu以下*1 (モノラル入力、ソースインピーダンス 150 Ω)
	クロストーク	-70 dB以下 (1 kHz)
	サンプリング周波数	48 kHz
	A/D、D/Aコンバーター	24 bit
	信号遅延	1.2 ms以下 (モノラル入力、ステレオ入力~メイン出力、モノラル出力)
	音声入力	モノラル入力 8系統、ステレオ入力4系統
モノラル入力	形式、コネクター	電子バランス、XLR-3-31相当
	定格、最大入力	-60 dBu ~ -10 dBu、+8 dBu
	入力インピーダンス	10 kΩ
ステレオ入力	形式、コネクター	不平衡、ピンジャック
	定格、最大入力	-10 dBV、+9 dBV
	入力インピーダンス	10 kΩ
音声出力	メイン出力 2系統、モノラル出力 2系統、録音出力 1系統	
メイン出力、モノラル出力	形式、コネクター	電子バランス、XLR-3-32相当
	定格、最大出力	+4 dBu、+18 dBu
	出力インピーダンス	150 Ω
	適合インピーダンス	10 kΩ以上
録音出力	形式、コネクター	不平衡、ピンジャック
	定格、最大出力	-10 dBV、+10 dBV
	出力インピーダンス	600 Ω
	適合インピーダンス	10 kΩ以上

0 dBu=0.775 Vrms 0 dBV=1 Vrms

\*1 オーディオバンドフィルターおよび聴覚補正フィルター (IHF-A) 使用

# 仕様 (つづき)

## ● 機能

ハウリングサプレッサー	4系統 (モノラル入力チャンネル1 ~ 4) バンド数: ダイナミックノッチ 4バンド 周波数帯: 40 Hz ~ 18 kHz (1 / 48 oct step) 減衰量: 0 dB ~ -15 dB (3 dB step) Q: 30 / 60 (自動判定)
イコライザー	搭載チャンネル: 全モノラル入力チャンネル 3モードプリセット方式 [モード1] 中高域強調 (有線マイクなど使用時の明瞭度向上) [モード2] 低域強調 (ハンド型ワイヤレスマイクなど使用時) [モード3] 低域および中高域強調 (タイピン型ワイヤレスマイクなど使用時)
ステレオ入力ミュート	マニュアルモードとオートモードの切替可 (後面ディップスイッチにて) 減衰量: -10 dBと-20 dBの切替可 (後面ディップスイッチにて)
パターンメモリー*	メモリ数 4個、接点入出力による制御可
ステレオ入力チャンネル選択*	ステレオ入力チャンネルを択一選択、接点入出力による制御可

\*パターンメモリー機能とステレオ入力チャンネル選択機能はどちらか1つのみ使用可能

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	(       )       -
お買い上げ日	年       月       日

## 修理を依頼されるときは

「故障かな!?!」「エラーメッセージ」(42、43ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	オーディオミキサー
●品 番	WR-DX002
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

## アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

必要なとき

# 保証とアフターサービス（つづき）

## 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

### このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像\*や音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

### 直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：映像対応していないモデルもあります。



取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）  
※携帯電話・PHSからもご利用になります。

ホームページからのお問い合わせは [https://biz.panasonic.com/jp-ja/support\\_cs-contact](https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact)

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号